

環境基本計画調査報告書
(令和5年度)

令和6年3月

多 気 町

目 次

1	調査目的	1
2	調査地点	1
3	調査項目、調査年月日及び分析方法	5
4	調査結果	9
4-1	櫛田川調査結果	10
4-2	丹生川調査結果	11
4-3	星ヶ丘川調査結果	11
4-4	片野川調査結果	12
4-5	朝柄川調査結果	12
4-6	濁川調査結果	13
4-7	相可川調査結果	13
4-8	佐奈川調査結果	14
4-9	河田川調査結果	14
4-10	外城田川調査結果	15
4-11	土羽の旧灰捨て場調査結果	15
4-12	湖沼調査結果	16
4-13	排水調査結果	17
4-14	ダイオキシン類調査結果	20
5	まとめ	21
6	調査結果一覧表	22
6-1	櫛田川調査結果一覧表	22
6-2	丹生川調査結果一覧表	29
6-3	星ヶ丘川調査結果一覧表	30
6-4	片野川調査結果一覧表	32
6-5	朝柄川調査結果一覧表	33
6-6	濁川調査結果一覧表	34
6-7	相可川調査結果一覧表	35
6-8	佐奈川調査結果一覧表	36
6-9	河田川調査結果一覧表	39
6-10	外城田川調査結果一覧表	40
6-11	土羽の旧灰捨て場調査結果一覧表	42
6-12	湖沼水調査結果一覧表	43
6-13	排水調査結果一覧表	45

6-14	ダイオキシン類調査結果一覧表.....	47
7	経年変化（過去5年間の検出状況）.....	50
7-1	櫛田川	50
7-2	丹生川	53
7-3	星ヶ丘川	54
7-4	片野川	56
7-5	朝柄川	57
7-6	濁川	58
7-7	相可川	59
7-8	佐奈川	61
7-9	河田川	65
7-10	外城田川	66
7-11	湖沼水	70
8	次年度以降の調査への提言.....	73
	巻末 調査状況の写真	

1 調査目的

本調査は、多気町内の河川、湖沼及び主要事業所排水の水質について、その現況を把握し、今後の環境施策のための基礎資料を得ることを目的に実施した。

2 調査地点

調査地点は、表-1 及び図-1 に示したとおり、町内の主な水質環境を把握するため、櫛田川水系河川（櫛田川、丹生川、片野川、朝柄川、相可川、佐奈川）、祓川水系河田川、宮川水系河川（星ヶ丘川、濁川）、外城田川水系鳴子川、湖沼水（天啓池、五桂池、栃ヶ池）及び主要事業所排水等より選出した。

表-1 水質調査地点及び水質の分類

河川・池・事業所名	調査地点名	水質の分類
櫛田川	①波多瀬橋	河川水
	②香肌大橋	河川水
	③丹生地内	河川水
	⑨朝長頭首工 遠下流	河川水
丹生川	④丹生橋	河川水
星ヶ丘川	⑤香肌奥伊勢資源化プラザ前	河川水
	⑦丹生色太地内	河川水
片野川	⑥九軒組集会所前	河川水
朝柄川	⑦勢和振興事務所前	河川水
濁川	⑧濁川橋下流	河川水
相可川	⑩多気ニュータウン放流下流	河川水
	⑪消防署西側	河川水
佐奈川	⑫ヴィンソン下流	河川水
	⑬松阪興産下流	河川水
	⑭達川橋	河川水
	⑮田子田橋	河川水
河田川	⑯河田川合流点上流	河川水
外城田川	⑰鳴子川合流点上流	河川水
	⑱森荘	河川水
	⑲土羽・玉城町境界点	河川水
小河川	⑳土羽の旧灰捨て場	河川水
天啓池	⑫天啓池	湖沼水
五桂池	⑯五桂池	湖沼水
栃ヶ池	⑳栃ヶ池	湖沼水
ダイヘン	㉑ダイヘン工場排水排水口	排水
ミヤテック	㉒ミヤテック排水口	排水(浸出水)
クリスタルタウン	㉓クリスタルタウン下流	排水
ホンダカーズ三重	㉔ホンダカーズ三重排水口	排水



図-1(1/2) 調査地点図



番号	調査地点	番号	調査地点	番号	調査地点
1	榑田川(波多瀬橋)	12	天啓池	23	土羽の旧灰捨て場
2	榑田川(香肌大橋)	13	佐奈川(松阪興産下流)	24	ミヤテック排水口
3	榑田川(丹生地内)	14	佐奈川(遠川橋)	25	ホンダカーズ三重
4	丹生川(丹生橋)	15	佐奈川(田子田橋)	26	クリスタルタウン下流
5	星ヶ丘川(香肌奥伊勢資源化プラザ前)	16	五桂池	27	星ヶ丘川(丹生・色太地内)
6	片野川(九軒組集会所前)	17	河田川(合流点上流)	28	ヴィン
7	朝柄川(勢和振興事務所前)	18	鳴子川(合流点上流)		
8	濁川(濁川橋下流)	19	外城田川(森荘)		
9	榑田川(朝長頭首工 遠下流)	20	外城田川(土羽、玉城町境界点)		
10	相可川(多気ニュータウン放流下流)	21	ダイヘン工場排水		
11	相可川(消防署西側)	22	榑ヶ池		

図-1(2/2) 調査地点図

3 調査項目、調査年月日及び分析方法

調査項目及び調査年月日は表-2 (1) ~ (2) に示した。

環境水試料の分析方法は表-3 に、排水試料の分析方法は表-4 に示した。

表-2 (1) 調査項目及び調査年月日

区分	調査地点	調査項目	調査年月日
櫛田川 (河川水)	①波多瀬橋 ②香肌大橋	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・透視度・水温・気温	令和5年5月26日 令和5年7月25日 令和5年11月1日 令和6年3月4日
	③丹生地内	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日
	⑨朝長頭首工 遠下流	水質管理目標設定項目(水道法第4条)のうち、農薬類(チウラム、シマジン、チオベンカルブ等)114項目	令和5年7月25日
丹生川 (河川水)	④丹生橋	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日
星ヶ丘川 (河川水)	⑤香肌奥伊勢資源化プラザ前	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日
	⑦丹生色太地内	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・水温・気温	令和5年5月26日 令和5年7月25日 令和5年9月19日 令和5年11月1日 令和5年1月10日 令和5年3月4日
片野川 (河川水)	⑥九軒組集会所前	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日
朝柄川 (河川水)	⑦勢和振興事務所前	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日
濁川 (河川水)	⑧濁川橋下流	pH・BOD・COD・SS・n-ヘキサン抽出物質・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
		フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・クロム含有量・ふっ素・カドミウム・全シアン・有機りん・鉛・砒素・総水銀・六価クロム	令和5年11月1日

表-2 (2) 調査項目及び調査年月日

区分	調査地点	調査項目	調査年月日
相可川 (河川水)	⑩多気ニュータウン放流下流 ⑪消防署西側	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・n-ヘキサン抽出物質・全窒素・総水銀・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
湖沼水	⑫天啓池	pH・COD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・銅・亜鉛・電気伝導率・水温・気温	
佐奈川 (河川水)	⑬ヴィンソン下流	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・水温・気温	令和5年5月26日 令和5年7月25日 令和5年9月19日 令和5年11月1日 令和5年1月10日 令和5年3月4日
	⑭松阪興産下流 ⑮遠川橋 ⑯田子田橋	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・総水銀・ニッケル・n-ヘキサン抽出物質・濁度・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
佐奈川水系 (湖沼水)	⑯五桂池	pH・COD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・銅・亜鉛・電気伝導率・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
祇川水系 (河川水)	⑰河田川 (合流点上流)	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・n-ヘキサン抽出物質・全窒素・総水銀・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
外城田川水系 (河川水)	⑱鳴子川 (合流点上流)		
外城田川 (河川水)	⑲森荘	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・水温・気温	令和5年9月19日 令和5年12月6日
		COD・n-ヘキサン抽出物質・全窒素・全りん・電気伝導率・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
	⑳土羽、玉城町境界点	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・カドミウム・鉛・六価クロム・全シアン・総水銀・砒素・COD・n-ヘキサン抽出物質・全窒素・全りん・銅・亜鉛・電気伝導率・水温・気温	令和5年9月19日 令和5年12月6日
外城田川水系 (工場排水)	㉑ダイヘン工場排水	pH・BOD・COD・SS・大腸菌群数(1cm ³)・n-ヘキサン抽出物質含有量・フェノール類・銅・亜鉛・溶解性鉄・溶解性マンガン・カドミウム・鉛・六価クロム・全シアン・総水銀・砒素・ふっ素・ほう素・アンモニア性窒素・硝酸性窒素・亜硝酸性窒素・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
外城田川水系 (湖沼水)	㉒栃ヶ池	pH・COD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・全窒素・全りん・銅・亜鉛・電気伝導率・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日
小河川	㉓土羽の旧灰捨て場	pH・BOD・COD・SS・大腸菌数(CFU)・全窒素・全シアン・カドミウム・鉛・六価クロム・総水銀・砒素・水温・気温・ダイオキシン類	令和5年10月13日 令和5年12月6日
排水	㉔ミヤテック(排水口)	ダイオキシン類	令和5年10月13日
	㉕ホンダカーズ三重 (排水口)	pH・BOD・SS・溶存酸素量・n-ヘキサン抽出物質含有量・窒素含有量・燐含有量・水温・気温	令和5年6月19日
	㉖クリスタルタウン下流	pH・BOD・SS・溶存酸素量・大腸菌数(CFU)・水温・気温	令和5年6月19日 令和5年11月1日

表-3 環境水分析方法

分析項目	分析方法
気温	JIS K0102 7.1
水温	JIS K0102 7.2
透視度	JIS K0102 9
濁度	水質基準に関する省令
電気伝導率	JIS K0102 13
水素イオン濃度(pH)	JIS K0102 12.1
生物学的酸素要求量(BOD)	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量(COD)	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	昭和46年環境庁告示第59号付表9
溶存酸素量(DO)	JIS K0102 32.3
大腸菌数(CFU)	昭和46年環境庁告示第59号付表10
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	昭和46年環境庁告示第59号付表14
全窒素(T-N)	JIS K0102 45.6
全りん(T-P)	JIS K0102 46.3.4
フェノール類	JIS K0102 28.1
銅(Cu)	JIS K0102 52
亜鉛(Zn)	JIS K0102 53
溶解性鉄(Fe)	JIS K0102 57
溶解性マンガン(Mn)	JIS K0102 56
全クロム(T-Cr)	JIS K0102 65.1
カドミウム(Cd)	JIS K0102 55
鉛(Pb)	JIS K0102 54
六価クロム(Cr ⁶⁺)	JIS K0102 65.2
全シアン(CN)	JIS K0102 38
総水銀(T-Hg)	昭和46年環境庁告示第59号付表2
砒素(As)	JIS K0102 61
有機りん(O-P)	昭和49年環境庁告示第64号付表1
ふっ素(F)	JIS K0102 34
ニッケル(Ni)	JIS K0102 59
ダイオキシン類	JIS K0312(2020)
農薬114項目	平成15年健水発第1010001号準拠

表-4 排水分析方法

分析項目	分析方法
気温	JIS K0102 7.1
水温	JIS K0102 7.2
水素イオン濃度(pH)	JIS K0102 12.1
生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K0102 21及び32.3
化学的酸素要求量(COD)	JIS K0102 17
浮遊物質(SS)	昭和46年環境庁告示第59号付表9
溶存酸素量(DO)	JIS K0102 32.3
大腸菌群数(個/cm ³)	昭和37年厚生省・建設省令第1号
n-ヘキサン抽出物質含有量	昭和49年環境庁告示第64号付表4 及びJIS K0102付属書1(参考)補足II
窒素含有量(T-N)	JIS K0102 45.6
磷含有量(T-P)	JIS K0102 46.3.4
フェノール類含有量	JIS K0102 28.1
銅含有量(Cu)	JIS K0102 52
亜鉛含有量(Zn)	JIS K0102 53
溶解性鉄含有量(Fe)	JIS K0102 57
溶解性マンガン含有量(Mn)	JIS K0102 56
カドミウム及びその化合物(Cd)	JIS K0102 55
鉛及びその化合物(Pb)	JIS K0102 54
六価クロム含有量(Cr ⁶⁺)	JIS K0102 65.2
シアン化合物(CN)	JIS K0102 38
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物(T-Hg)	昭和46年環境庁告示第59号付表2
砒素及びその化合物(As)	JIS K0102 61
ふっ素及びその化合物(F)	JIS K0102 34
ほう素及びその化合物(B)	JIS K0102 47
アンモニア性窒素(NH ₄ -N)	JIS K0102 42.6
亜硝酸性窒素(NO ₂ -N)	JIS K0102 43.1
硝酸性窒素(NO ₃ -N)	JIS K0102 43.2
ダイオキシン類	JIS K0312(2008)

4 調査結果

水質調査結果は、環境水調査結果と排水調査結果とに区別し、さらに環境水調査結果は河川毎に昭和46年12月28日環境庁告示第59号の基準値（以下、環境基準）との比較を、排水調査結果は昭和46年6月21日総理府令第35号排水基準を定める省令に定める基準（以下、排水基準）及び三重県条例の上乗せ基準との比較を行った。また、河川水（水路）及び排水に係るダイオキシン類調査については、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚濁に係る環境基準及び特定施設からの排水基準との比較を行った。

櫛田川、濁川及び外城田川の環境基準類型指定の状況は、図-2に示したとおりである。櫛田川では津留橋から上流がAA類型に、同橋より下流はA類型に指定されている。濁川は全域がAA類型に指定されている。外城田川では伊勢市・大野橋より上流がB類型に指定されており、多気町内を流れる外城田川にはB類型が指定されている。

本文中には主に基準値との比較を考慮し、それに対応する項目のみを記載した。その他の項目に関しては、「6 調査結果一覧表」として記載した。

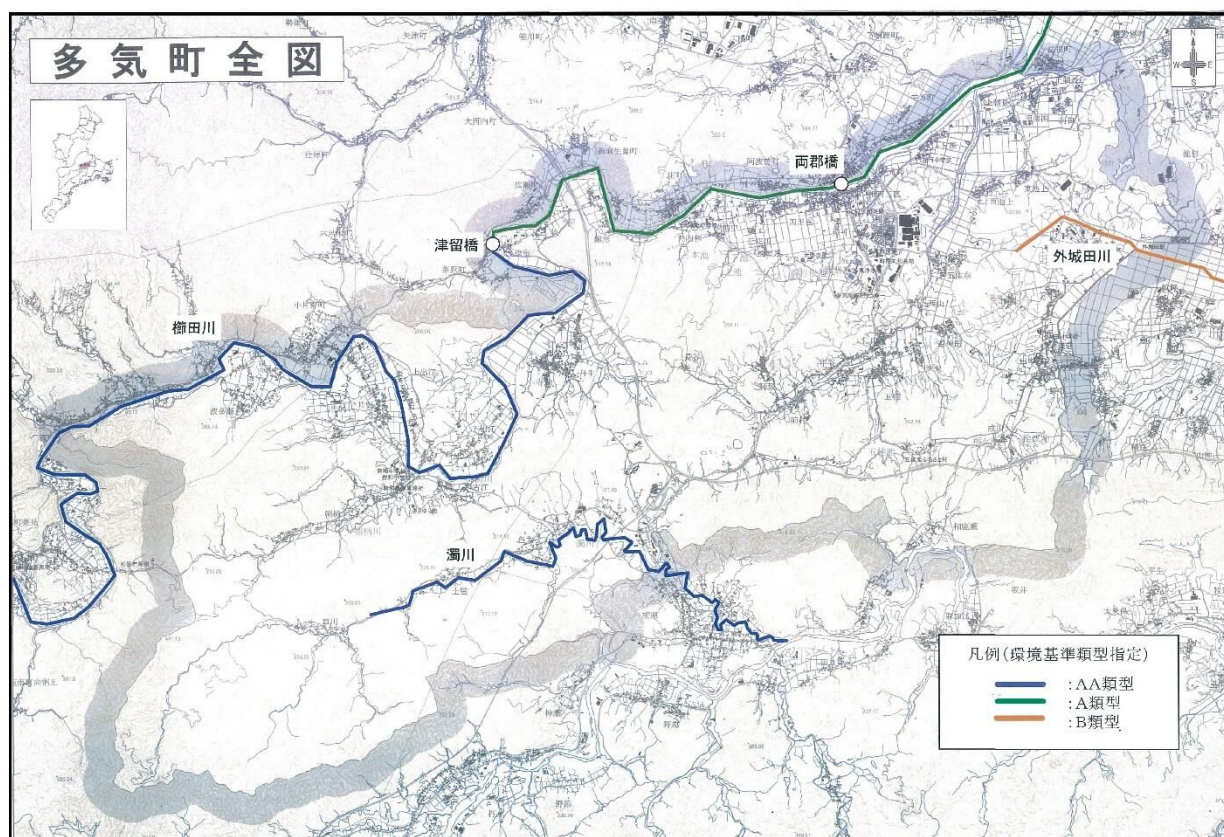


図-2 公共用水域類型指定の状況

4-1 櫛田川調査結果

櫛田川における調査は、環境水の項目を3地点でそれぞれ2~4回、水道水の項目を1地点で1回実施した。環境水の項目を実施した3地点（波多瀬橋、香肌大橋、丹生地内）はいずれも環境基準のAA類型に指定されている水域であるため、同類型基準との比較を、水道水項目を実施した朝長頭首工遠下流は平成25年3月28日厚生労働省健康局水道課水道水質管理室水質基準省令の改正等について（以下、水道法）の水質管理目標値との比較を行った。環境基準との比較結果を表-5(1)に、水質管理目標値との比較結果を表-5(2)に示した。波多瀬橋でBODが、全ての地点で大腸菌数がそれぞれ環境基準に適合しない結果が確認された。その他の項目では環境基準に適合していた。なお、丹生地内では溶存酸素について、本年度は検査を実施しなかった。朝長頭首工遠下流の農薬115項目は、水道法水質管理目標値に適合していた。

表-5(1) 櫛田川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	波多瀬橋	香肌大橋	丹生地内
pH	-	6.5~8.5	7.0~7.9	7.0~8.4	7.8~8.0
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	8.6~11	8.9~12	-
BOD	mg/L	1以下	<0.5~1.3	<0.5~1.0	0.6~0.8
SS	mg/L	25以下	<1~1	<1	<1~2
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	11~46	5~30	7~67

注：調査結果一覧表は「6-1 表-21(1)~(3)」を参照

表-5(2) 櫛田川調査地点の調査結果

項目	単位	水質管理目標値 (水道法)	朝長頭首工 遠下流
農薬115項目	-	1以下	0

注：調査結果一覧表は「6-1 表-21(4)~(8)」を参照

4-2 丹生川調査結果

丹生川における調査は、1地点で2回実施した。丹生川には環境基準の類型指定はないが、AA類型の櫛田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-6に示した。その結果は、大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。pH、BOD及びSSについては環境基準に適合していた。溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-6 丹生川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	丹生橋
pH	-	6.5~8.5	7.6~8.0
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	-
BOD	mg/L	1以下	<0.5~0.6
SS	mg/L	25以下	<1~4
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	200~250

注：調査結果一覧表は「6-2 表-22」を参照

4-3 星ヶ丘川調査結果

星ヶ丘川における調査は、香肌奥伊勢資源化プラザ前で2回及び丹生色太地内で6回実施した。星ヶ丘川には環境基準の類型指定はないが、AA類型の濁川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-7に示した。その結果は、全ての地点で大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。また、pHについても香肌奥伊勢資源化プラザ前環境基準に適合しない結果が確認された。BOD、SS及び丹生色太地内の溶存酸素量については環境基準に適合していた。香肌奥伊勢資源化プラザ前の溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-7 星ヶ丘川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	香肌奥伊勢資源 化プラザ前	丹生色太地内
pH	-	6.5~8.5	7.9~8.8	7.1~8.0
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	-	7.7~12
BOD	mg/L	1以下	0.6~1.0	<0.5~1.0
SS	mg/L	25以下	2~3	<1~5
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	33~76	17~580

注：調査結果一覧表は「6-3 表-23 (1) ~ (3)」を参照

4-4 片野川調査結果

片野川における調査は、1地点で2回実施した。片野川には環境基準の類型指定はないが、AA類型の櫛田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-8に示した。その結果は、大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。pH、BOD及びSSについては環境基準に適合していた。溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-8 片野川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	九軒組集会所前
pH	-	6.5~8.5	6.7~7.4
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	-
BOD	mg/L	1以下	0.5~0.6
SS	mg/L	25以下	2~3
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	43~150

注：調査結果一覧表は「6-4 表-24」を参照

4-5 朝柄川調査結果

朝柄川における調査は、1地点で2回実施した。朝柄川には環境基準の類型指定はないが、AA類型の櫛田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-9に示した。その結果は、大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。pH、BOD及びSSについては環境基準に適合していた。溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-9 朝柄川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	勢和振興事務所前
pH	-	6.5~8.5	7.5~7.6
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	-
BOD	mg/L	1以下	<0.5~0.6
SS	mg/L	25以下	<1
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	200~380

注：調査結果一覧表は「6-5 表-25」を参照

4-6 濁川調査結果

濁川における調査は、1地点で2回実施した。濁川は環境基準のAA類型に指定されているため、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-10に示した。その結果は、大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。pH、BOD及びSSについては環境基準に適合していた。溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-10 濁川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (AA類型)	濁川橋下流
pH	-	6.5~8.5	7.5~7.7
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	-
BOD	mg/L	1以下	<0.5
SS	mg/L	25以下	<1
大腸菌数	CFU/100mL	20以下	290~490

注：調査結果一覧表は「6-6 表-26」を参照

4-7 相可川調査結果

相可川における調査は、2地点でそれぞれ2回実施した。相可川には環境基準の類型指定はないが、A類型の櫛田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-11に示した。その結果は、多気ニュータウン放流下流で大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認された。pH、溶存酸素量、BOD及びSSについてはいずれの地点でも環境基準に適合していた。

表-11 相可川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (A類型)	多気ニュータウン 放流下流	消防署西側
pH	-	6.5~8.5	7.9~8.0	7.8
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	11~13	9.5
BOD	mg/L	2以下	1.4~1.9	0.7~1.2
SS	mg/L	25以下	4~7	<1~3
大腸菌数	CFU/100mL	300以下	160~310	36~120

注：調査結果一覧表は「6-7 表-27 (1) ~ (2)」を参照

4-8 佐奈川調査結果

佐奈川における調査は、1地点で6回、3地点でそれぞれ2回実施した。佐奈川には環境基準の類型指定はないが、Aタイプの櫛田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-12に示した。その結果は、SSが松阪興産下流で環境基準に適合しない結果が確認された。その他の検査項目についてはいずれの地点でも環境基準に適合していた。

表-12 佐奈川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (Aタイプ)	ヴィソン下流	松阪興産下流	遼川橋	田子田橋
pH	-	6.5~8.5	7.1~8.0	7.9~8.1	7.9~8.4	8.0~8.1
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	7.6~10	8.3~8.8	9.2~12	10
BOD	mg/L	2以下	<0.5~0.7	0.7~0.8	0.7~0.9	<0.5~0.6
SS	mg/L	25以下	<1~6	27~33	1~2	<1
大腸菌数	CFU/100mL	300以下	6~160	19~61	110~210	98~290

注：調査結果一覧表は「6-8 表-28 (1) ~ (5)」を参照

4-9 河田川調査結果

河田川における調査は、1地点で2回実施した。河田川には環境基準の類型指定はないが、Aタイプの櫛田川から分岐している祓川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-13に示した。その結果は、全ての検査項目で環境基準に適合していた。

表-13 河田川合流点上流の調査結果

項目	単位	環境基準 (Aタイプ)	河田川 合流点上流
pH	-	6.5~8.5	7.2~7.6
溶存酸素量	mg/L	7.5以上	8.6~9.3
BOD	mg/L	2以下	0.6~0.8
SS	mg/L	25以下	2~11
大腸菌数	CFU/100mL	300以下	25~58

注：調査結果一覧表は「6-9 表-29」を参照

4-10 外城田川調査結果

外城田川における調査は、3地点でそれぞれ2~4回実施した。森荘及び土羽・玉城町境界点は外城田川の環境基準B類型に指定されている。鳴子川（合流点上流）では環境基準の類型指定はないが、B類型の外城田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-14に示した。その結果は、鳴子川合流点上流でpHについて環境基準に適合しない結果が確認された。溶存酸素量、BOD、SS及び大腸菌数についてはいずれの地点でも環境基準に適合していた。

表-14 外城田川調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (B類型)	鳴子川 合流点上流	森荘	土羽・玉城町 境界点
pH	-	6.5~8.5	9.7~9.9	6.7~7.2	7.2
溶存酸素量	mg/L	5以上	13~14	8.1~8.3	10~12
BOD	mg/L	3以下	0.6~0.8	0.7~0.9	0.6
SS	mg/L	25以下	<1	<1~2	<1~2
大腸菌数	CFU/100mL	1000以下	2~4	11~38	37~68

注：調査結果一覧表は「6-10 表-30 (1) ~ (3)」を参照

4-11 土羽の旧灰捨て場調査結果

土羽の旧灰捨て場周辺の水路（小河川）における調査は、1地点で2回実施した。本水路（小河川）には環境基準の類型指定はないが、B類型である外城田川に流入していることから、同類型基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-15に示した。その結果は、大腸菌数について環境基準に適合しない結果が確認されたために再試験を行ったが、その結果は同基準に適合していた。pH、BOD及びSSについてはいずれの地点でも環境基準に適合していた。溶存酸素量について、本年度は検査を実施しなかった。

表-15 土羽の旧灰捨て場の調査結果（水路）

項目	単位	環境基準 (B類型)	土羽の旧灰捨て場
pH	-	6.5~8.5	7.3
溶存酸素量	mg/L	5以上	-
BOD	mg/L	3以下	0.6~1.0
SS	mg/L	25以下	9
大腸菌数	CFU/100mL	1000以下	180~3200

注：調査結果一覧表は「6-11 表-31」を参照

4-12 湖沼水調査結果

湖沼における調査は、3地点でそれぞれ2回実施した。調査地点とした五桂池、栃ヶ池及び天啓池には「湖沼に係る環境基準」は設定されていないが、pH、COD、溶存酸素及びSSについては農業用水に利用される場合のB類型の基準を、また、全窒素及び全りんについてはV類型の基準をそれぞれ参考にして比較を行った。環境基準との比較結果を、表-16に示した。その結果は、溶存酸素について栃ヶ池で環境基準を満たさなさい結果が確認された。また、CODについて天啓池で環境基準を満たさなさい結果が確認された。それ以外のすべての検査項目についていずれの地点でも環境基準のB類型、V類型基準に適合していた。

表-16 湖沼水調査地点の調査結果

項目	単位	環境基準 (湖沼:B類型、V類型)	五桂池	栃ヶ池	天啓池
pH	-	6.5~8.5	7.1~7.8	7.5~7.7	7.4~7.5
COD	mg/L	5以下	3.9~4.2	3.7~3.8	5.0~5.5
SS	mg/L	15以下	1~2	1~3	<1~5
溶存酸素量	mg/L	5以上	8.3~11	4.9~9.1	5.5~7.6
全窒素	mg/L	1以下	0.20~0.26	0.15~0.19	0.22~0.26
全りん	mg/L	0.1以下	0.004~0.007	0.007~0.008	0.011

注：調査結果一覧表は「6-12 表-32 (1) ~ (3)」を参照

4-13 排水調査結果

町内の主要な事業所排水の調査は、ダイヘン工場排水口で 2 回、ホンダカーズ三重で 1 回、クリスタルタウン下流 2 回で実施した。排水基準等との比較結果を、表-17~19 に示した。その結果は、全ての項目について検査項目についていずれの地点でも基準及び参考基準に適合していた。

表-17 ダイヘン工場排水調査結果

項目	単位	排水基準	上乘せ基準	ダイヘン工場排水
pH	-	5.8~8.6	5.8~8.6	7.2~8.0
BOD	mg/L	160(120)	25(20)	<0.5
COD	mg/L	160(120)	25(20)	2.5~3.2
SS	mg/L	200(150)	90(70)	2~5
n-ヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	5	1	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	30	10	<0.5
フェノール類	mg/L	5	1	<0.1
銅含有量	mg/L	3	1	<0.02
亜鉛含有量	mg/L	2	-	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/L	10	-	0.11~0.79
溶解性マンガン含有量	mg/L	10	-	0.09~0.13
大腸菌群数	個/cm ³	3,000	-	<1~1
カドミウム及びその他の化合物	mg/L	0.03	-	<0.003
シアン化合物	mg/L	1	-	<0.1
鉛及びその他の化合物	mg/L	0.1	-	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.5	-	<0.05
砒素及びその他の化合物	mg/L	0.1	-	<0.01
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.005	-	<0.0005
ふっ素およびその他の化合物	mg/L	8	-	<0.1
ほう素及びその他の化合物	mg/L	10	-	<0.02
アンモニア性窒素	mg/L	-	-	<0.1
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	<0.1
硝酸性窒素	mg/L	-	-	0.7~1.5
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	mg/L	100	-	0.7~1.5

注1：調査結果一覧表は「6-13 表-33 (1)」を参照

2：()内は日間平均を表す。

表-18 ホンダカーズ三重排水調査結果

項目	単位	排水基準	ホンダカーズ三重工場排水
pH	-	5.8~8.6	6.8
BOD	mg/L	160(120)	20
SS	mg/L	200(150)	15
溶存酸素量	mg/L	-	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	5	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	30	1.5
窒素含有量	mg/L	120(60)	2.2
燐含有量	mg/L	16(8)	0.30

注1：査結果一覧表は「6-13 表-33 (2)」を参照

2：() 内は日間平均を表す。

3：本施設は水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当するが、排水規制は受けない施設である。

表-19 クリスタルタウン下流排水調査結果

項目	単位	排水基準 (参考値)	クリスタルタウン 下流
pH	-	5.8~8.6	7.6~7.9
溶存酸素量	mg/L	-	7.0~7.7
BOD	mg/L	160(120)	<0.5
SS	mg/L	200(150)	<1
大腸菌数	CFU/100mL	-	<1

注1：査結果一覧表は「6-13 表-33 (3)」を参照

2：() 内は日間平均を表す。

3：本施設は水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当するが、排水規制は受けない施設である。

4-14 ダイオキシン類調査結果

水質に係るダイオキシン類調査は、土羽の旧灰捨て場の水路（小河川）及びミヤテック排水口においてそれぞれ1回実施した。

河川、水路等の公共用水域については、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく水質の汚濁に係る環境基準が定められているため、同基準との比較を行った。環境基準との比較結果を、表-20 (1) に示した。その結果は、環境基準に適合しない結果が確認されたために再試験を行ったが、再検査では環境基準に適合していた。

ミヤテック排水口については、ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設からの排出基準の適用は受けないが、参考として同基準との比較を行った。排水基準との比較結果を、表-20 (2) に示した。その結果は、同参考基準に適合していた。

表-20 (1) ダイオキシン類水質調査結果（環境水）

項目	単位	環境基準	土羽の旧灰捨て場水路(小河川)
PCDDs ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン	pg-TEQ/L	-	0.0796~0.889
PCDFs ポリ塩化ジベンゾフラン	pg-TEQ/L	-	0.01710~0.1689
コプラナーPCB	pg-TEQ/L	-	0.00357085~0.0061037
Total ダイオキシン類	pg-TEQ/L	1	0.10~1.1

注1：調査結果一覧表は「6-14 表-34 (1)、(2)」を参照

2：毒性等量：2,3,7,8-TCDD 毒性等量 (TEQ)

3：毒性等量の算出にあたり、定量下限未満の実測濃度は検出下限の1/2として算出

4：毒性等価係数はWHO/IPCSのTEF(2006)を使用

表-20 (2) ダイオキシン類水質調査結果（排水）

項目	単位	環境基準	ミヤテック排水口
PCDDs ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン	pg-TEQ/L	-	0.00752
PCDFs ポリ塩化ジベンゾフラン	pg-TEQ/L	-	0.886
コプラナーPCB	pg-TEQ/L	-	0.0827495
Total ダイオキシン類	pg-TEQ/L	10	0.18

注1：調査結果一覧表は「6-14 表-34 (3)」を参照

2：毒性等量：2,3,7,8-TCDD 毒性等量 (TEQ)

3：毒性等量の算出にあたり、定量下限未満の値には0を用いて算出

4：毒性等価係数はWHO/IPCSのTEF(2006)を使用

5 まとめ

櫛田川水系、宮川水系、外城田川水系の河川調査では、概ね良好な結果であったが、大腸菌数については多くの調査地点で、BOD については櫛田川水系の 1 地点で 1 回、SS については櫛田川水系の 1 地点で 2 回、pH については宮川水系で 1 回、外城田川水系で 2 回、環境基準（参考を含む）をそれぞれ超過する結果が確認された。一部の調査地点では、重金属類、農薬類などの人の健康の保護に関する環境基準項目についても調査を実施したが、いずれの地点においても同基準を超過するような調査結果は確認されなかった。

土羽の旧灰捨て場周辺水路（小河川）で実施した調査ではダイオキシン類と大腸菌数について参考とした環境基準に適合しない結果が確認された。それ以外の項目では参考とした環境基準に適合する、結果が確認され重金属類についてもすべて検出されなかった。

五桂池、栃ヶ池及び天啓池で実施した湖沼水調査では、溶存酸素量で 1 箇所の調査地点で、COD で 1 箇所の調査地点でそれぞれ参考とした環境基準に適合しない結果が確認された。その他の項目については参考とした環境基準に適合する結果が確認された。重金属類については、すべて検出されなかった。

ダイヘン、ホンダカーズ三重及びクリスタルタウン下流で実施した事業所排水調査では、すべての項目で参考とした環境基準に適合する結果であった。

土羽の旧灰捨て場周辺水路及びミヤテック排水で実施したダイオキシン類調査では、土羽の旧灰捨て場周辺水路で環境基準を超過する結果された。このため、再調査を行ったところ環境基準に適合していた。土羽の旧灰捨て場周辺水路の調査日前 1 週間の降水量について気象庁の小俣の観測値を集計したところ、環境基準に適合していた令和 4 年度では 8.5 mm、令和 5 年 12 月度では 0.5 mm の雨を観測していたのに対し、環境基準を超過していた令和 5 年 10 月度では 55.0 mm の雨を観測していた。このことから、環境基準を超過していた令和 5 年 10 月度では降雨により流出した有害物が偶発的に調査地点の水路に滞留していたと考える。ミヤテック排水では参考とした排水基準に適合する結果であった。

6 調査結果一覧表

調査結果の詳細は、表 21～34 に示したとおりである。

6-1 櫛田川調査結果一覧表

表-21 (1) 櫛田川調査結果 (波多瀬橋)

項目	単位	櫛田川(波多瀬橋)			
		令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年11月1日	令和6年3月4日
採取年月日	年月日	令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年11月1日	令和6年3月4日
採水時刻	時:分	14:10	12:00	9:12	10:30
天候	-	曇り	晴れ	晴れ	晴れ
気温	℃	20.5	32.6	17.6	10.7
水温	℃	17.7	28.2	15.9	7.2
pH	-	7.0	7.9	7.6	7.3
BOD	mg/L	0.5	1.3	<0.5	0.7
SS	mg/L	<1	<1	1	<1
溶存酸素量	mg/L	9.3	8.6	9.4	11
大腸菌数	CFU/100mL	46	25	43	11
透視度	度	30度以上	30度以上	30度以上	30度以上

表-21 (2) 櫛田川調査結果 (香肌大橋)

項目	単位	櫛田川(香肌大橋)			
		令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年11月1日	令和6年3月4日
採取年月日	年月日	令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年11月1日	令和6年3月4日
採水時刻	時:分	13:40	11:38	10:00	10:45
天候	-	曇り	晴れ	晴れ	晴れ
気温	℃	20.3	35.6	19.1	12.3
水温	℃	16.7	28.6	16.7	7.9
pH	-	7.0	8.4	7.7	7.4
BOD	mg/L	0.5	1.0	<0.5	0.7
SS	mg/L	<1	<1	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	9.3	8.9	9.4	12
大腸菌数	CFU/100mL	30	24	5	14
透視度	度	30度以上	30度以上	30度以上	30度以上

表-21 (3) 櫛田川調査結果 (丹生地内)

項目	単位	櫛田川(丹生地内)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:40	10:20
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	27.6	18.4
水温	℃	21.0	17.8
pH	-	7.8	8.0
BOD	mg/L	0.6	0.8
COD	mg/L	2.4	2.3
SS	mg/L	<1	2
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	67	7
全窒素	mg/L	0.64	0.81
全りん	mg/L	0.011	0.004
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	<0.02
溶解性マンガン	mg/L	-	<0.02
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	<0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

表-21 (4) 櫛田川調査結果 (朝長頭首工 遠下流)
農薬類検査結果一覧表 (1/5)

項目	単位	検査結果	目標値	検査結果/目標値	
採取年月日	年月日	令和5年7月25日	-	-	
採取時刻	時:分	14:56	-	-	
気温	℃	32.9	-	-	
水温	℃	36.5	-	-	
1	1,3-ジクロロプロペン(D-D)	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
2	2,2-DPA(ダラボン)	mg/L	<0.0008	0.08以下	0
3	2,4-D(2,4-PA)	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
4	EPN	mg/L	<0.00004	0.004以下	0
5	MCPA	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
6	アシュラム	mg/L	<0.009	0.9以下	0
7	アセフェート	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
8	アトラジン	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
9	アニロホス	mg/L	<0.00003	0.003以下	0
10	アミトラズ	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
11	アラクロール	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
12	イソキサチオン	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
13	イソフェンホス	mg/L	<0.00001	0.001以下	0
14	イソプロカルブ(MIPC)	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
15	イソプロチオラン(IPT)	mg/L	<0.003	0.3以下	0
16	イブフェンカルバジン	mg/L	<0.00002	0.002以下	0
17	イプロベンホス(IBP)	mg/L	<0.0009	0.09以下	0
18	イミノクタジン	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
19	インダノファン	mg/L	<0.00009	0.009以下	0
20	エスプロカルブ	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
21	エトフェンプロックス	mg/L	<0.0008	0.08以下	0
22	エンドスルファン(ベンゾエピン)	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
23	オキサジクロメホン	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
24	オキシシン銅(有機銅)	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
25	オリサストロビン	mg/L	<0.001	0.1以下	0

表-21 (5) 櫛田川調査結果 (朝長頭首工 遠下流)
農薬類検査結果一覧表 (2/5)

項目	単位	検査結果	目標値	検査結果/目標値
26 カズサホス	mg/L	<0.000006	0.0006以下	0
27 カフェンストール	mg/L	<0.00008	0.008以下	0
28 カルタップ	mg/L	<0.0008	0.08以下	0
29 カルバリル(NAC)	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
30 カルボフラン	mg/L	<0.000003	0.0003以下	0
31 キノクラミン(ACN)	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
32 キャプタン	mg/L	<0.003	0.3以下	0
33 クミロン	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
34 グリホサート	mg/L	<0.02	2以下	0
35 グルホシネート	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
36 クロメプロップ	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
37 クロルニトロフェン(CNP)	mg/L	<0.00001	0.0001以下	0
38 クロルピリホス	mg/L	<0.00003	0.003以下	0
39 クロロタロニル(TPN)	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
40 シアナジン	mg/L	<0.00001	0.001以下	0
41 シアノホス(CYAP)	mg/L	<0.00003	0.003以下	0
42 ジウロン(DCMU)	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
43 ジクロベニル(DBN)	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
44 ジクロルボス(DDVP)	mg/L	<0.00008	0.008以下	0
45 ジクワット	mg/L	<0.0001	0.001以下	0
46 ジスルホトン(エチルチオメトン)	mg/L	<0.00004	0.004以下	0
47 ジチオカルバメート系農薬	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
48 ジチオピル	mg/L	<0.00009	0.009以下	0
49 シハロホップブチル	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
50 シマジン(CAT)	mg/L	<0.00003	0.003以下	0

表-21 (6) 櫛田川調査結果 (朝長頭首工 遠下流)
農薬類検査結果一覧表 (3/5)

項目	単位	検査結果	目標値	検査結果/目標値
51 ジメタメトリン	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
52 ジメトエート	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
53 シメトリン	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
54 ダイアジノン	mg/L	<0.00003	0.003以下	0
55 ダイムロン	mg/L	<0.008	0.8以下	0
56 ダゾメット、メタム(カーバム)及び メチルイソチオシアネート	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
57 チアジニル	mg/L	<0.001	0.1以下	0
58 チウラム	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
59 チオジカルブ	mg/L	<0.0008	0.08以下	0
60 チオファネートメチル	mg/L	<0.003	0.3以下	0
61 チオベンカルブ	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
62 テフリルトリオン	mg/L	<0.00002	0.002以下	0
63 テルブカルブ(MBPMC)	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
64 トリクロピル	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
65 トリクロロホン(DEP)	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
66 トリシクラゾール	mg/L	<0.001	0.1以下	0
67 トリフルラリン	mg/L	<0.0006	0.06以下	0
68 ナプロバミド	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
69 バラコート	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
70 ピペロホス	mg/L	<0.000009	0.0009以下	0
71 ビラクロニル	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
72 ビラゾキシフェン	mg/L	<0.00004	0.004以下	0
73 ビラゾリネート(ピラゾレート)	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
74 ビリダフェンチオン	mg/L	<0.00002	0.002以下	0
75 ビリブチカルブ	mg/L	<0.0002	0.02以下	0

表-21 (7) 櫛田川調査結果 (朝長頭首工 遠下流)
農薬類検査結果一覧表 (4/5)

項目	単位	検査結果	目標値	検査結果/目標値	
76	ピロキロン	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
77	フィプロニル	mg/L	<0.000005	0.0005以下	0
78	フェントロチオン(MEP)	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
79	フェノブカルブ(BPMC)	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
80	フェリムゾン	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
81	フェンチオン(MPP)	mg/L	<0.00006	0.006以下	0
82	フェントエート(PAP)	mg/L	<0.00007	0.007以下	0
83	フェントラザミド	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
84	フサライド	mg/L	<0.001	0.1以下	0
85	ブタクロール	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
86	ブタミホス	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
87	ブプロフェジン	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
88	フルアジナム	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
89	プレチラクロール	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
90	プロシミドン	mg/L	<0.0009	0.09以下	0
91	プロチオホス	mg/L	<0.00007	0.007以下	0
92	プロピコナゾール	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
93	プロピザミド	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
94	プロベナゾール	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
95	プロモブチド	mg/L	<0.001	0.1以下	0
96	ベノミル	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
97	ペンシクロン	mg/L	<0.001	0.1以下	0
98	ベンゾビシクロン	mg/L	<0.0009	0.09以下	0
99	ベンゾフェナップ	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
100	ベンタゾン	mg/L	<0.002	0.2以下	0

表-21 (8) 櫛田川調査結果 (朝長頭首工 遠下流)
農薬類 検査結果 一覧表 (5/5)

項目	単位	検査結果	目標値	検査結果/目標値	
101	ペンディメタリン	mg/L	<0.003	0.3以下	0
102	ベンフラカルブ	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
103	ベンフルラリン(バスロジン)	mg/L	<0.0001	0.01以下	0
104	ベンフレセート	mg/L	<0.0007	0.07以下	0
105	ホスチアゼート	mg/L	<0.00005	0.005以下	0
106	マラチオン(マラソン)	mg/L	<0.007	0.7以下	0
107	メコプロップ(MCPP)	mg/L	<0.0005	0.05以下	0
108	メソミル	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
109	メタラキシル	mg/L	<0.002	0.2以下	0
110	メチダチオン(DMTP)	mg/L	<0.00004	0.004以下	0
111	メミノストロビン	mg/L	<0.0004	0.04以下	0
112	メトリブジン	mg/L	<0.0003	0.03以下	0
113	メフェナセツト	mg/L	<0.0002	0.02以下	0
114	メプロニル	mg/L	<0.001	0.1以下	0
115	モリネート	mg/L	<0.00005	0.005以下	0

6-2 丹生川調査結果一覧表

表-22 丹生川調査結果 (丹生橋)

項目	単位	丹生川(丹生橋)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:55	10:35
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.2	20.5
水温	℃	21.0	17.1
pH	-	7.6	8.0
BOD	mg/L	0.6	<0.5
COD	mg/L	3.2	3.1
SS	mg/L	<1	4
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	200	250
全窒素	mg/L	0.72	0.61
全りん	mg/L	0.009	0.004
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	0.11
溶解性マンガン	mg/L	-	<0.02
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	<0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

6-3 星ヶ丘川調査結果一覧表

表-23 (1) 星ヶ丘川調査結果 (香肌奥伊勢資源化プラザ前)

項目	単位	星ヶ丘川(香肌奥伊勢資源化プラザ前)	
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	10:10	11:00
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.3	20.1
水温	℃	20.7	17.9
pH	-	7.9	8.8
BOD	mg/L	1.0	0.6
COD	mg/L	3.8	2.3
SS	mg/L	2	3
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	76	33
全窒素	mg/L	0.61	1.0
全りん	mg/L	0.023	0.019
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	0.28
溶解性マンガン	mg/L	-	0.07
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

表-23 (2) 星ヶ丘川調査結果 (丹生色太地内 (1))

項目	単位	星ヶ丘川(丹生色太地内)		
		令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年9月19日
採取年月日	年月日	令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年9月19日
採水時刻	時:分	11:00	11:17	15:10
天候	-	曇り	晴れ	晴れ
気温	℃	18.0	31.3	31.3
水温	℃	16.0	25.1	24.1
pH	-	7.1	7.9	7.6
BOD	mg/L	<0.5	1.0	0.6
SS	mg/L	<1	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	8.9	7.7	8.1
大腸菌数	CFU/100mL	510	350	320

表-23 (3) 星ヶ丘川調査結果 (丹生色太地内 (2))

項目	単位	星ヶ丘川(丹生色太地内)		
		令和5年11月1日	令和6年1月10日	令和6年3月4日
採取年月日	年月日	令和5年11月1日	令和6年1月10日	令和6年3月4日
採水時刻	時:分	11:50	10:44	11:10
天候	-	晴れ	曇り	晴れ
気温	℃	19.4	3.2	12.0
水温	℃	14.5	3.9	8.0
pH	-	7.9	8.0	7.6
BOD	mg/L	<0.5	1.0	0.7
SS	mg/L	1	5	<1
溶存酸素量	mg/L	9.5	12	11
大腸菌数	CFU/100mL	580	140	17

6-4 片野川調査結果一覧表

表-24 片野川調査結果（九軒組集会所前）

項目	単位	片野川(九軒組集会所前)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:10	9:25
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	27.2	18.4
水温	℃	20.2	17.5
pH	-	7.4	6.7
BOD	mg/L	0.5	0.6
COD	mg/L	3.2	2.3
SS	mg/L	2	3
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	43	150
全窒素	mg/L	0.91	3.3
全りん	mg/L	0.014	0.066
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	<0.02
溶解性マンガン	mg/L	-	<0.02
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	<0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

6-5 朝柄川調査結果一覧表

表-25 朝柄川調査結果（勢和振興事務所前）

項目	単位	朝柄川(勢和振興事務所前)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:20	9:40
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.0	19.1
水温	℃	20.6	15.6
pH	-	7.6	7.5
BOD	mg/L	0.6	<0.5
COD	mg/L	3.2	1.5
SS	mg/L	<1	<1
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	200	380
全窒素	mg/L	0.51	0.42
全りん	mg/L	0.014	0.013
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	<0.02
溶解性マンガン	mg/L	-	<0.02
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	<0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

6-6 濁川調査結果一覧表

表-26 濁川調査結果（濁川橋下流）

項目	単位	濁川(濁川橋下流)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	10:25	11:19
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.0	19.7
水温	℃	20.8	14.8
pH	-	7.7	7.5
BOD	mg/L	<0.5	<0.5
COD	mg/L	3.0	1.7
SS	mg/L	<1	<1
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
大腸菌数	CFU/100mL	290	490
全窒素	mg/L	0.50	0.52
全りん	mg/L	<0.003	0.005
フェノール類	mg/L	-	<0.1
銅	mg/L	-	<0.02
亜鉛	mg/L	-	<0.05
溶解性鉄	mg/L	-	<0.02
溶解性マンガン	mg/L	-	<0.02
全クロム	mg/L	-	<0.02
ふっ素	mg/L	-	<0.1
カドミウム	mg/L	-	<0.0003
全シアン	mg/L	-	<0.1
有機りん	mg/L	-	<0.1
鉛	mg/L	-	<0.005
砒素	mg/L	-	<0.005
総水銀	mg/L	-	<0.0005
六価クロム	mg/L	-	<0.005

6-7 相可川調査結果一覧表

表-27 (1) 相可川調査結果 (多気ニュータウン放流下流)

項目	単位	相可川(多気ニュータウン放流下流)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:20	8:59
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	30.1	21.8
水温	℃	25.2	17.4
pH	-	7.9	8.0
BOD	mg/L	1.9	1.4
SS	mg/L	7	4
溶存酸素量	mg/L	11	13
大腸菌数	CFU/100mL	310	160
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
全窒素	mg/L	0.80	0.59
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005

表-27 (2) 相可川調査結果 (消防署西側)

項目	単位	相可川(消防署西側)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:10	8:55
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	30.1	21.6
水温	℃	22.8	21.0
pH	-	7.8	7.8
BOD	mg/L	1.2	0.7
SS	mg/L	<1	3
溶存酸素量	mg/L	9.5	9.5
大腸菌数	CFU/100mL	36	120
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
全窒素	mg/L	0.93	0.78
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005

6-8 佐奈川調査結果一覧表

表-28 (1) 佐奈川調査結果 (ヴィソン下流 (1))

項目	単位	ヴィソン下流		
		令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年9月19日
採取年月日	年月日	令和5年5月26日	令和5年7月25日	令和5年9月19日
採水時刻	時:分	10:30	11:00	14:50
天候	-	曇り	晴れ	晴れ
気温	℃	17.8	33.2	31.7
水温	℃	16.7	23.1	25.6
pH	-	7.1	7.8	7.5
BOD	mg/L	<0.5	0.5	0.7
SS	mg/L	<1	<1	2
溶存酸素量	mg/L	8.2	7.9	7.6
大腸菌数	CFU/100mL	95	160	88

表-28 (2) 佐奈川調査結果 (ヴィソン下流 (2))

項目	単位	ヴィソン下流		
		令和5年11月1日	令和6年1月10日	令和6年3月4日
採取年月日	年月日	令和5年11月1日	令和6年1月10日	令和6年3月4日
採水時刻	時:分	12:25	10:24	10:55
天候	-	晴れ	曇り	晴れ
気温	℃	20.2	4.2	11.8
水温	℃	17.1	9.0	12.1
pH	-	7.7	8.0	7.5
BOD	mg/L	<0.5	0.6	<0.5
SS	mg/L	6	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	8.2	10	10
大腸菌数	CFU/100mL	70	6	77

表-28 (3) 佐奈川調査結果 (松阪興産下流)

項目	単位	佐奈川(松阪興産下流)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	10:40	12:08
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.2	20.0
水温	℃	21.8	18.3
pH	-	7.9	8.1
BOD	mg/L	0.8	0.7
SS	mg/L	33	27
溶存酸素量	mg/L	8.3	8.8
大腸菌数	CFU/100mL	61	19
全窒素	mg/L	1.5	1.7
全りん	mg/L	0.045	0.035
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
ニッケル	mg/L	<0.05	<0.05
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
濁度	度	36	33

表-28 (4) 佐奈川調査結果 (達川橋)

項目	単位	佐奈川(達川橋)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	10:55	12:45
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.2	20.3
水温	℃	22.2	18.2
pH	-	7.9	8.4
BOD	mg/L	0.9	0.7
SS	mg/L	2	1
溶存酸素量	mg/L	9.2	12
大腸菌数	CFU/100mL	210	110
全窒素	mg/L	0.89	0.60
全りん	mg/L	0.032	0.009
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
ニッケル	mg/L	<0.05	<0.05
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
濁度	度	3.8	1.6

表-28 (5) 佐奈川調査結果 (田子田橋)

項目	単位	佐奈川(田子田橋)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	10:30	11:26
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	31.0	22.3
水温	℃	23.2	17.1
pH	-	8.0	8.1
BOD	mg/L	0.6	<0.5
SS	mg/L	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	10	10
大腸菌数	CFU/100mL	98	290
全窒素	mg/L	0.82	0.82
全りん	mg/L	0.022	0.012
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
ニッケル	mg/L	<0.05	<0.05
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
濁度	度	2.2	0.9

6-9 河田川調査結果一覧表

表-29 河田川調査結果（河田川合流点上流）

項目	単位	河田川合流点上流	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	9:40	10:24
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	30.5	20.0
水温	℃	22.9	16.2
pH	-	7.2	7.6
BOD	mg/L	0.8	0.6
SS	mg/L	11	2
溶存酸素量	mg/L	8.6	9.3
大腸菌数	CFU/100mL	58	25
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
全窒素	mg/L	0.72	0.39
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005

6-10 外城田川調査結果一覧表

表-30 (1) 外城田川調査結果 (鳴子川合流点上流)

項目	単位	外城田川(鳴子川合流点上流)	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	11:40	11:00
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	30.0	22.6
水温	℃	29.7	20.2
pH	-	9.9	9.7
BOD	mg/L	1.9	0.6
SS	mg/L	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	14	13
大腸菌数	CFU/100mL	2	4
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
全窒素	mg/L	1.4	0.88
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005

表-30 (2) 外城田川調査結果 (森荘)

項目	単位	外城田川(森荘)			
		令和5年6月19日	令和5年9月19日	令和5年11月1日	令和5年12月6日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年9月19日	令和5年11月1日	令和5年12月6日
採水時刻	時:分	10:15	14:30	10:51	15:00
天候	-	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ
気温	℃	30.2	33.2	20.6	18.8
水温	℃	20.3	27.4	19.0	17.1
COD	mg/L	1.8	-	2.1	-
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	-	<0.5	-
全窒素	mg/L	1.6	-	1.0	-
全りん	mg/L	0.017	-	0.006	-
電気伝導率	mS/m	10	-	11	-
pH	-	-	7.2	-	6.7
BOD	mg/L	-	0.9	-	0.7
SS	mg/L	-	2	-	<1
溶存酸素量	mg/L	-	8.1	-	8.3
大腸菌数	CFU/100mL	-	38	-	11

表-30 (3) 外城田川調査結果 (土羽・玉城町境界点)

項目	単位	外城田川(土羽・玉城町境界点)	
		令和5年9月19日	令和5年12月6日
採取年月日	年月日	令和5年9月19日	令和5年12月6日
採水時刻	時:分	14:10	14:40
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	32.2	18.4
水温	℃	26.2	15.3
pH	-	7.2	7.2
BOD	mg/L	0.6	0.6
COD	mg/L	2.6	1.4
SS	mg/L	2	<1
溶存酸素量	mg/L	10	12
大腸菌数	CFU/100mL	68	37
n-ヘキサン抽出物質(油分等)	mg/L	<0.5	<0.5
全窒素	mg/L	1.4	1.9
全りん	mg/L	0.044	0.034
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003
鉛	mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
砒素	mg/L	<0.005	<0.005
銅	mg/L	<0.02	<0.02
亜鉛	mg/L	<0.05	<0.05
電気伝導率	mS/m	12	13

6-11 土羽の旧灰捨て場調査結果一覧表

表-31 土羽の旧灰捨て場調査結果（水路）

項目	単位	土羽の旧灰捨て場	
		令和5年10月13日	令和5年12月6日
採取年月日	年月日	令和5年10月13日	令和5年12月6日
採水時刻	時:分	10:47	13:40
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	23.0	17.4
水温	℃	17.0	12.3
pH	-	7.3	7.3
BOD	mg/L	0.6	1.0
COD	mg/L	2.8	2.4
SS	mg/L	9	9
大腸菌数	CFU/100mL	3200	180
全窒素	mg/L	1.0	0.81
全シアン	mg/L	<0.1	<0.1
カドミウム	mg/L	<0.0003	<0.0003
鉛	mg/L	<0.005	<0.005
六価クロム	mg/L	<0.005	<0.005
総水銀	mg/L	<0.0005	<0.0005
砒素	mg/L	<0.005	<0.005

6-12 湖沼水調査結果一覧表

表-32 (1) 湖沼水調査結果 (五桂池)

項目	単位	五桂池	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	11:10	11:14
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.0	21.8
水温	℃	26.3	20.8
pH	-	7.1	7.8
COD	mg/L	4.2	3.9
SS	mg/L	1	2
溶存酸素量	mg/L	11	8.3
大腸菌数	CFU/100mL	2	2
全窒素	mg/L	0.26	0.20
全りん	mg/L	0.004	0.007
銅	mg/L	<0.02	<0.02
亜鉛	mg/L	<0.05	<0.05
電気伝導率	mS/m	7.1	7.1

表-32 (2) 湖沼水調査結果 (栃ヶ池)

項目	単位	栃ヶ池	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	11:25	11:05
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.5	22.7
水温	℃	25.6	18.6
pH	-	7.7	7.5
COD	mg/L	3.8	3.7
SS	mg/L	1	3
溶存酸素量	mg/L	9.1	4.9
大腸菌数	CFU/100mL	10	1
全窒素	mg/L	0.19	0.15
全りん	mg/L	0.007	0.008
銅	mg/L	<0.02	<0.02
亜鉛	mg/L	<0.05	<0.05
電気伝導率	mS/m	8.2	9.3

表-32 (3) 湖沼水調査結果 (天啓池)

項目	単位	天啓池	
		令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	8:55	13:30
天候	-	晴れ	晴れ
気温	℃	29.3	23.6
水温	℃	24.8	20.1
pH	-	7.5	7.4
COD	mg/L	5.0	5.5
SS	mg/L	<1	5
溶存酸素量	mg/L	7.6	5.5
大腸菌数	CFU/100mL	<1	<1
全窒素	mg/L	0.26	0.22
全りん	mg/L	0.011	0.011
銅	mg/L	<0.02	<0.02
亜鉛	mg/L	<0.05	<0.05
電気伝導率	mS/m	12	13

6-13 排水調査結果一覧表

表-33 (1) 排水調査結果 (ダイヘン工場排水)

項目	単位	排水基準	上乗せ基準	ダイヘン工場排水	
				令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	-	-	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	-	-	9:55	10:34
天候	-	-	-	晴れ	晴れ
気温	℃	-	-	30.1	20.0
水温	℃	-	-	23.3	17.2
pH	-	5.8~8.6	5.8~8.6	8.0	7.2
BOD	mg/L	160(120)	25(20)	<0.5	<0.5
COD	mg/L	160(120)	25(20)	3.2	2.5
SS	mg/L	200(150)	90(70)	5	2
大腸菌群数	個/cm ³	3000	-	1	不検出
n-ヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	5	1	<0.5	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	30	10	<0.5	<0.5
フェノール類含有量	mg/L	5	1	<0.1	<0.1
銅含有量	mg/L	3	1	<0.02	<0.02
亜鉛含有量	mg/L	2	-	<0.05	<0.05
溶解性鉄含有量	mg/L	10	-	0.11	0.79
溶解性マンガン含有量	mg/L	10	-	0.13	0.09
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.03	-	<0.003	<0.003
鉛及びその化合物	mg/L	0.1	-	<0.01	<0.01
六価クロム化合物	mg/L	0.5	-	<0.05	<0.05
シアン化合物	mg/L	1	-	<0.1	<0.1
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	mg/L	0.005	-	<0.0005	<0.0005
砒素及びその化合物	mg/L	0.1	-	<0.01	<0.01
ふっ素及びその化合物	mg/L	8	-	<0.1	<0.1
ほう素及びその化合物	mg/L	10	-	<0.02	<0.02
硝酸性窒素	mg/L	-	-	0.7	1.5
亜硝酸性窒素	mg/L	-	-	<0.1	<0.1
アンモニア性窒素	mg/L	-	-	<0.1	<0.1
アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物、硝酸化合物	mg/L	100	-	0.7	1.5

注：() 内の数値は日間平均値を表す。

表-33 (2) 排水調査結果 (ホンダカーズ三重)

項目	単位	排水基準 (参考値)	ホンダカーズ三重排水
採取年月日	年月日	-	令和5年6月19日
採水時刻	時:分	-	10:40
天候	-	-	晴れ
気温	℃	-	31.9
水温	℃	-	24.0
pH	-	5.8~8.6	6.8
BOD	mg/L	160(120)	20
SS	mg/L	200(150)	15
溶存酸素量	mg/L	-	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(鉱油)	mg/L	5	<0.5
n-ヘキサン抽出物質含有量(動植物油)	mg/L	30	1.5
窒素含有量	mg/L	120(60)	2.2
磷含有量	mg/L	16(8)	0.30

注1: () 内の数値は日間平均値を表す。

2: 本施設は水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当するが、排水規制を受けない施設である。

表-33 (3) 排水調査結果 (クリスタルタウン下流)

項目	単位	排水基準 (参考値)	クリスタルタウン下流	
			令和5年6月19日	令和5年11月1日
採取年月日	年月日	-	令和5年6月19日	令和5年11月1日
採水時刻	時:分	-	11:05	12:00
天候	-	-	晴れ	晴れ
気温	℃	-	31.6	20.9
水温	℃	-	28.1	31.9
pH	-	5.8~8.6	7.6	7.9
BOD	mg/L	160(120)	<0.5	<0.5
SS	mg/L	200(150)	<1	<1
溶存酸素量	mg/L	-	7.7	7.0
大腸菌数	CFU/100mL	-	<1	<1

注1: () 内の数値は日間平均値を表す。

2: 本施設は水質汚濁防止法に基づく特定施設に該当するが、排水規制を受けない施設である。

6-14 ダイオキシン類調査結果一覧表

表-34 (1) ダイオキシン類調査結果 (土羽の旧灰捨て場水路水)

小河川 土羽の旧灰捨て場

令和5年10月13日

		実測濃度 Cs pg/L	試料における 定量下限 pg/L	試料における 検出下限 pg/L	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 (TEQ) pg-TEQ/L
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	110	0.04	0.01	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	41	0.04	0.01	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.04	0.01	1	0.0050
	TeCDDs	160	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	0.26	0.10	0.03	1	0.26
	PeCDDs	23	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	0.39	0.13	0.04	0.1	0.039
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	1.1	0.16	0.05	0.1	0.11
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	0.85	0.16	0.05	0.1	0.085
	HxCDDs	9.7	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	30	0.06	0.02	0.01	0.30
	HpCDDs	61	-	-	-	-
	OCDD	300	2.6	0.8	0.0003	0.090
	Total PCDDs	550	-	-	-	0.8890
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	(0.04)	0.10	0.03	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.10	0.03	0.1	0.0015
	TeCDFs	7.1	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	(0.08)	0.15	0.04	0.03	0.0024
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.09	0.08	0.02	0.3	0.027
	PeCDFs	3.1	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	0.30	0.16	0.05	0.1	0.030
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	0.21	0.08	0.02	0.1	0.021
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	(0.15)	0.21	0.06	0.1	0.015
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	0.38	0.15	0.04	0.1	0.038
	HxCDFs	6.2	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	2.6	0.08	0.03	0.01	0.026
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	0.50	0.09	0.03	0.01	0.0050
	HpCDFs	8.9	-	-	-	-
	OCDF	10	0.09	0.03	0.0003	0.0030
	Total PCDFs	35	-	-	-	0.1689
Total (PCDDs+PCDFs)		590	-	-	-	1.0579
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB (#81)	ND	0.15	0.04	0.0003	0.0000060
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	(0.12)	0.14	0.04	0.0001	0.000012
	3,3',4,4',5-PeCB (#126)	(0.05)	0.16	0.05	0.1	0.0050
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	ND	0.22	0.07	0.03	0.00105
	Total non-ortho PCBs	0.17	-	-	-	0.0060680
	2',3,4,4',5-PeCB (#123)	ND	0.21	0.06	0.00003	0.0000090
	2,3',4,4',5-PeCB (#118)	0.65	0.11	0.03	0.00003	0.0000195
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	0.30	0.17	0.05	0.00003	0.0000090
	2,3,4,4',5-PeCB (#114)	ND	0.13	0.04	0.00003	0.0000060
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	(0.05)	0.14	0.04	0.00003	0.0000015
	2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)	(0.09)	0.19	0.06	0.00003	0.0000027
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	ND	0.18	0.05	0.00003	0.00000075
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	ND	0.18	0.05	0.00003	0.00000075
	Total mono-ortho PCBs	1.1	-	-	-	0.00003570
Total DL-PCBs		1.3	-	-	-	0.00610370
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		590	-	-	-	1.1

- 備考 1. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、世界保健機関(WHO)より2005年に提案され、2006年の Toxicological Sciences に掲載されたもの(WHO-TEF(2006))を適用した。
 4. 毒性等量は実測濃度が定量下限以上の値と検出下限以上定量下限未満の値についてはそのままの値を用い、検出下限未満の値(ND)については、試料における検出下限値の1/2値を用い、これを毒性等価係数にそれぞれ乗じて算出した。
 5. 2,3,4,6,7,8-HxCDFは1,2,3,6,8,9-HxCDFと、2,3,4,4',5-PeCB(#114)は3,3',4,5,5'-PeCB(#127)とクロマトグラム上で分離できていないため、それらを含んだ濃度である。

表-34 (2) ダイオキシン類調査結果 (土羽の旧灰捨て場水路水再試験)

小河川 土羽の旧灰捨て場

令和5年12月6日

		実測濃度 Cs pg/L	試料における 定量下限 pg/L	試料における 検出下限 pg/L	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 (TEQ) pg-TEQ/L
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	7.1	0.04	0.01	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	2.3	0.04	0.01	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.04	0.01	1	0.0050
	TeCDDs	9.4	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	ND	0.10	0.03	1	0.015
	PeCDDs	1.5	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.13	0.04	0.1	0.0020
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.16	0.05	0.1	0.0025
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	(0.06)	0.16	0.05	0.1	0.0060
	HxCDDs	0.63	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	2.6	0.06	0.02	0.01	0.026
	HpCDDs	5.4	-	-	-	-
	OCDD	77	0.13	0.04	0.0003	0.0231
	Total PCDDs	94	-	-	-	0.0796
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.10	0.03	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	ND	0.10	0.03	0.1	0.0015
	TeCDFs	0.44	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.15	0.04	0.03	0.00060
	2,3,4,7,8-PeCDF	ND	0.08	0.02	0.3	0.0030
	PeCDFs	0.09	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	ND	0.16	0.05	0.1	0.0025
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	ND	0.08	0.02	0.1	0.0010
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.22	0.06	0.1	0.0030
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	ND	0.15	0.04	0.1	0.0020
	HxCDFs	0.35	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.28	0.09	0.03	0.01	0.0028
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	(0.04)	0.09	0.03	0.01	0.00040
	HpCDFs	0.83	-	-	-	-
	OCDF	1.0	0.09	0.03	0.0003	0.00030
Total PCDFs	2.7	-	-	-	0.01710	
Total (PCDDs+PCDFs)		97	-	-	-	0.09670
DL-PCBs	3,4,4',5'-TeCB (#81)	ND	0.15	0.04	0.0003	0.0000060
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	(0.06)	0.14	0.04	0.0001	0.0000060
	3,3',4,4',5'-PeCB (#126)	ND	0.16	0.05	0.1	0.0025
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	ND	0.22	0.07	0.03	0.00105
	Total non-ortho PCBs	0.06	-	-	-	0.0035620
	2',3,4,4',5'-PeCB (#123)	ND	0.21	0.06	0.00003	0.0000090
	2,3',4,4',5'-PeCB (#118)	0.12	0.11	0.03	0.00003	0.0000036
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	ND	0.17	0.05	0.00003	0.0000075
	2,3,4,4',5'-PeCB (#114)	ND	0.13	0.04	0.00003	0.0000060
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	ND	0.15	0.04	0.00003	0.0000060
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#156)	ND	0.19	0.06	0.00003	0.0000090
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	ND	0.18	0.05	0.00003	0.0000075
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	ND	0.18	0.05	0.00003	0.0000075
	Total mono-ortho PCBs	0.12	-	-	-	0.0000885
Total DL-PCBs	0.17	-	-	-	0.00357085	
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		97	-	-	-	0.10

- 備考 1. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、世界保健機関 (WHO) より2005年に提案され、2006年の Toxicological Sciences に掲載されたもの (WHO-TEF (2006)) を適用した。
 4. 毒性等量は実測濃度が定量下限以上の値と検出下限以上定量下限未満の値についてはそのままの値を用い、検出下限未満の値 (ND) については、試料における検出下限値の1/2値を用い、これを毒性等価係数にそれぞれ乗じて算出した。
 5. 2,3,4,6,7,8-HxCDFは1,2,3,6,8,9-HxCDFと、2,3,4,4',5'-PeCB(#114)は3,3',4,5,5'-PeCB(#127)とクロマトグラム上で分離できていないため、それらを含んだ濃度である。

表-34 (3) ダイオキシン類調査結果 (ミヤテック排水口)

ミヤテック(排水口)

令和5年10月13日

		実測濃度 Cs pg/L	試料における 定量下限 pg/L	試料における 検出下限 pg/L	毒性等価 係数 TEF	毒性等量 (TEQ) pg-TEQ/L
PCDDs	1,3,6,8-TeCDD	2.1	0.19	0.06	-	-
	1,3,7,9-TeCDD	0.72	0.19	0.06	-	-
	2,3,7,8-TeCDD	ND	0.19	0.06	1	0
	TeCDDs	2.9	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDD	(0.08)	0.15	0.05	1	0
	PeCDDs	0.84	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDD	ND	0.3	0.1	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDD	ND	0.23	0.07	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDD	ND	0.3	0.1	0.1	0
	HxCDDs	1.0	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDD	0.62	0.16	0.05	0.01	0.0062
	HpCDDs	1.3	-	-	-	-
	OCDD	4.4	0.3	0.1	0.0003	0.00132
	Total PCDDs	10	-	-	-	0.00752
PCDFs	1,2,7,8-TeCDF	ND	0.22	0.07	-	-
	2,3,7,8-TeCDF	(0.20)	0.22	0.07	0.1	0
	TeCDFs	5.7	-	-	-	-
	1,2,3,7,8-PeCDF	ND	0.20	0.06	0.03	0
	2,3,4,7,8-PeCDF	0.28	0.26	0.08	0.3	0.084
	PeCDFs	4.2	-	-	-	-
	1,2,3,4,7,8-HxCDF	(0.3)	0.3	0.1	0.1	0
	1,2,3,6,7,8-HxCDF	(0.15)	0.16	0.05	0.1	0
	1,2,3,7,8,9-HxCDF	ND	0.31	0.09	0.1	0
	2,3,4,6,7,8-HxCDF	(0.25)	0.27	0.08	0.1	0
	HxCDFs	2.0	-	-	-	-
	1,2,3,4,6,7,8-HpCDF	0.46	0.29	0.09	0.01	0.0046
	1,2,3,4,7,8,9-HpCDF	ND	0.3	0.1	0.01	0
	HpCDFs	0.7	-	-	-	-
OCDF	(0.3)	0.5	0.2	0.0003	0	
Total PCDFs	13	-	-	-	0.0886	
Total (PCDDs+PCDFs)		23	-	-	-	0.09612
DL-PCBs	3,4,4',5-TeCB (#81)	0.22	0.13	0.04	0.0003	0.000066
	3,3',4,4'-TeCB (#77)	3.8	0.14	0.04	0.0001	0.00038
	3,3',4,4',5-PeCB (#126)	0.81	0.22	0.07	0.1	0.081
	3,3',4,4',5,5'-HxCB (#169)	(0.2)	0.4	0.1	0.03	0
	Total non-ortho PCBs	5.0	-	-	-	0.081446
	2',3,4,4',5-PeCB (#123)	1.1	0.22	0.07	0.00003	0.000033
	2,3',4,4',5-PeCB (#118)	26	0.27	0.08	0.00003	0.00078
	2,3,3',4,4'-PeCB (#105)	9.7	0.22	0.07	0.00003	0.000291
	2,3,4,4',5-PeCB (#114)	0.8	0.3	0.1	0.00003	0.000024
	2,3',4,4',5,5'-HxCB (#167)	2.3	0.13	0.04	0.00003	0.000069
	2,3,3',4,4',5-HxCB (#156)	2.3	0.25	0.08	0.00003	0.000069
	2,3,3',4,4',5'-HxCB (#157)	0.97	0.21	0.06	0.00003	0.0000291
	2,3,3',4,4',5,5'-HpCB (#189)	0.28	0.24	0.07	0.00003	0.0000084
	Total mono-ortho PCBs	44	-	-	-	0.0013035
Total DL-PCBs	48	-	-	-	0.0827495	
Total (PCDDs+PCDFs+DL-PCBs)		72	-	-	-	0.18

- 備考 1. 実測濃度中の括弧付の数値は、検出下限以上定量下限未満の濃度であることを示す。
 2. 実測濃度中の“ND”は、検出下限未満であることを示す。
 3. 毒性等価係数は、世界保健機関 (WHO) より2005年に提案され、2006年の Toxicological Sciences に掲載されたもの (WHO-TEF (2006)) を適用した。
 4. 毒性等量は実測濃度が定量下限以上の値はそのまま使い、定量下限未満の値には0 (ゼロ) を使い、これにそれぞれ毒性等価係数を乗じて算出した。
 5. 2,3,4,6,7,8-HxCDFは1,2,3,6,8,9-HxCDFと、2,3,4,4',5-PeCB(#114)は3,3',4,5,5'-PeCB(#127)とクロマトグラム上で分離できていないため、それらを含んだ濃度である。

7 経年変化（過去5年間の検出状況）

各地点で共通する環境基準項目（生活環境項目）のうち、原則、令和元年度から本年度までの5年間分の経年変化を、図-3～24に示した。調査地点毎の変動状況は以下のとおりである。

7-1 櫛田川

(1) 波多瀬橋

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.4mg/Lで、溶存酸素量は8.5mg/L～11mg/Lで、SSは1mg/L未満～1mg/Lで、pHは6.8～8.2で、大腸菌数は2CFU/100mL～1200CFU/100mLで推移している。大腸菌数で令和4年7月にやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。

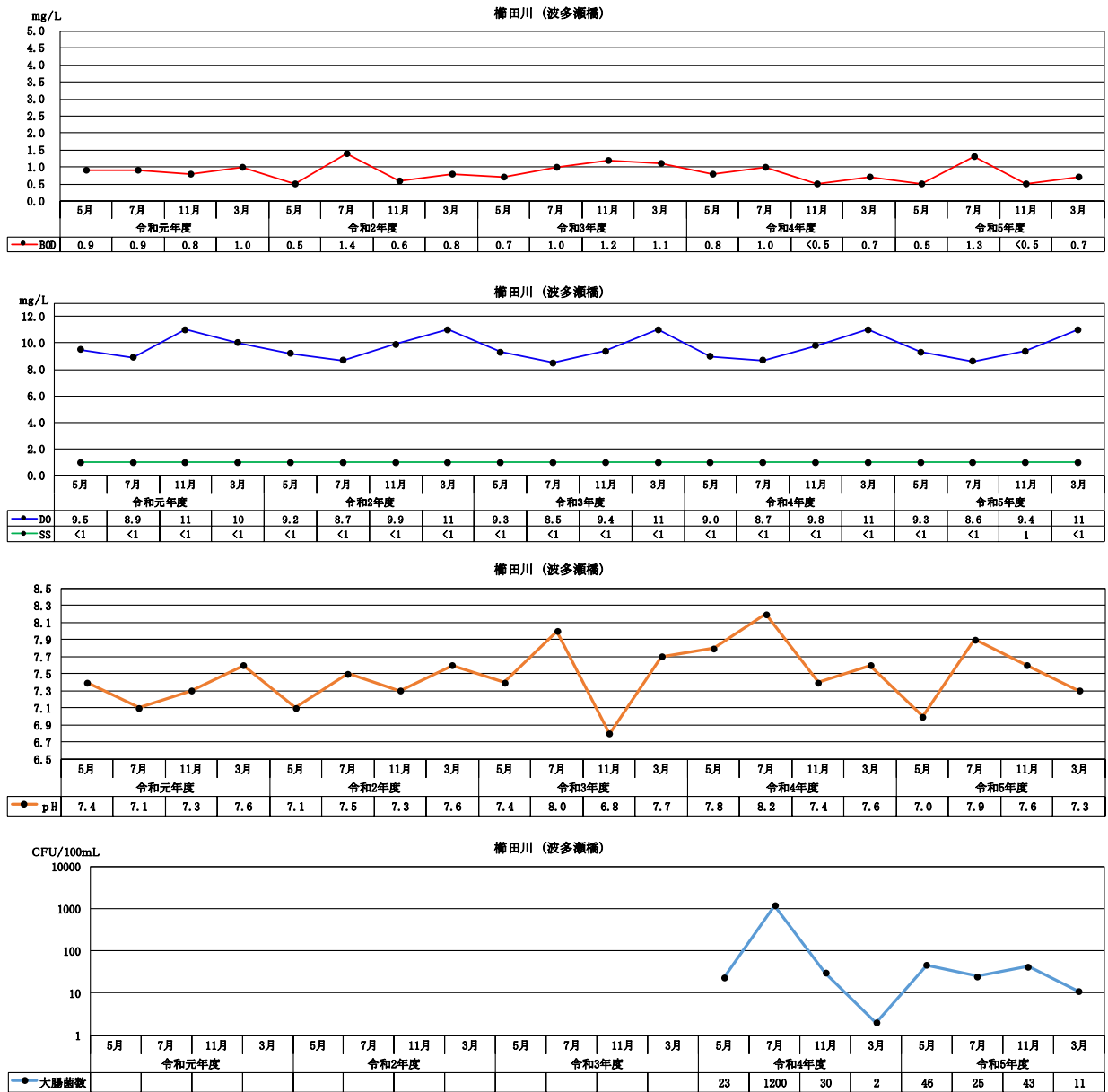
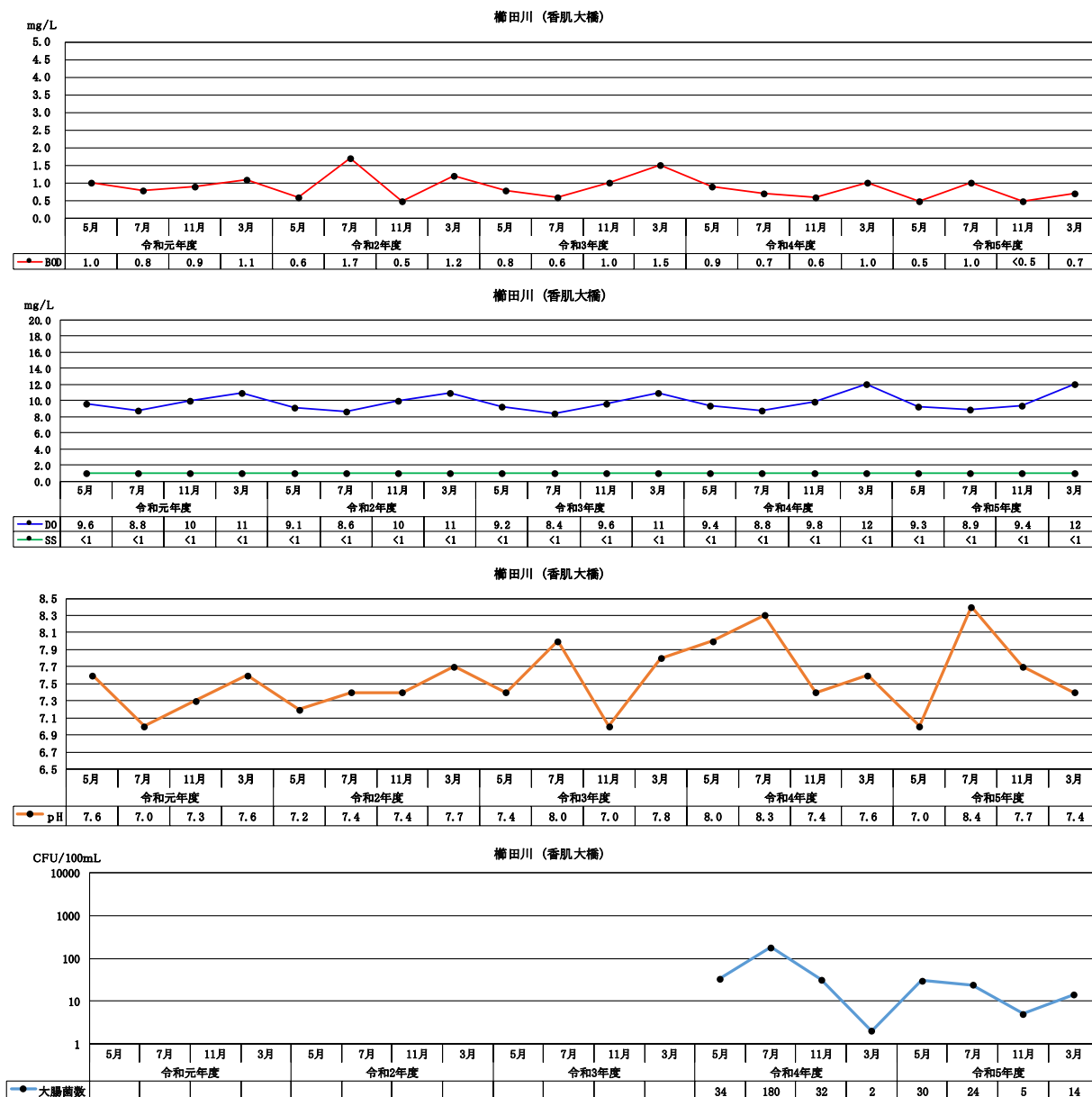


図-3 経年変化（波多瀬橋）

(2) 香肌大橋

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.7mg/Lで、溶存酸素量は8.4mg/L～12mg/Lで、SSは1mg/L未満で、pHは7.0～8.4で、大腸菌数は2CFU/100mL～180CFU/100mLで推移している。大腸菌数で令和4年7月にやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。



図一4 経年変化 (香肌大橋)

(3) 丹生地内

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.1mg/Lで、SSは1mg/L未満～2mg/Lで、pHは7.2～8.0で、大腸菌数は7CFU/100mL～73CFU/100mLで推移している。大腸菌数でやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

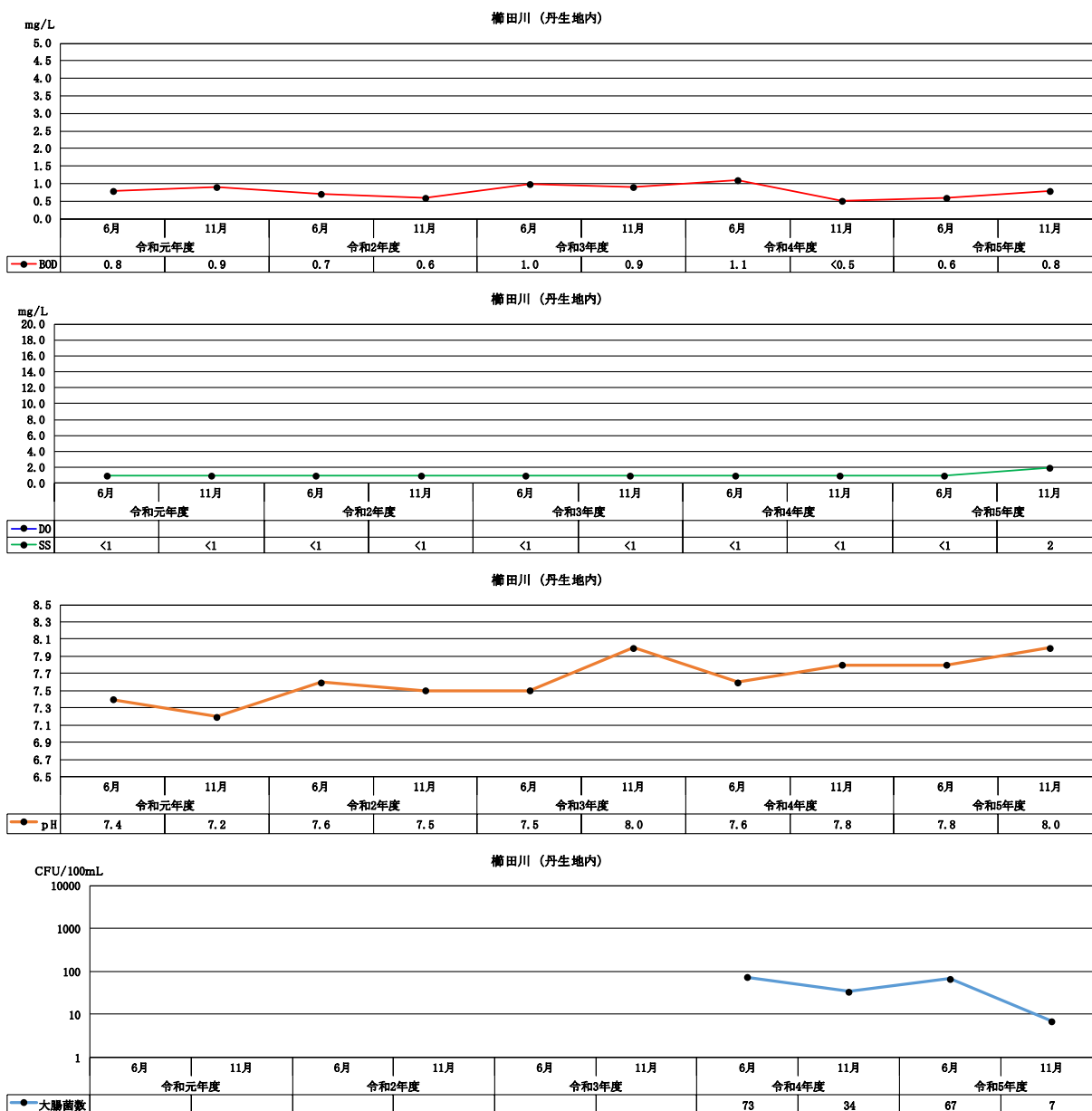


図-5 経年変化 (丹生地内)

7-2 丹生川

(1) 丹生橋

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.3mg/Lで、SSは1mg/L未満～4mg/Lで、pHは7.2～8.0で、大腸菌数は130 CFU/100mL～250 CFU/100mLで推移している。大腸菌数でやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

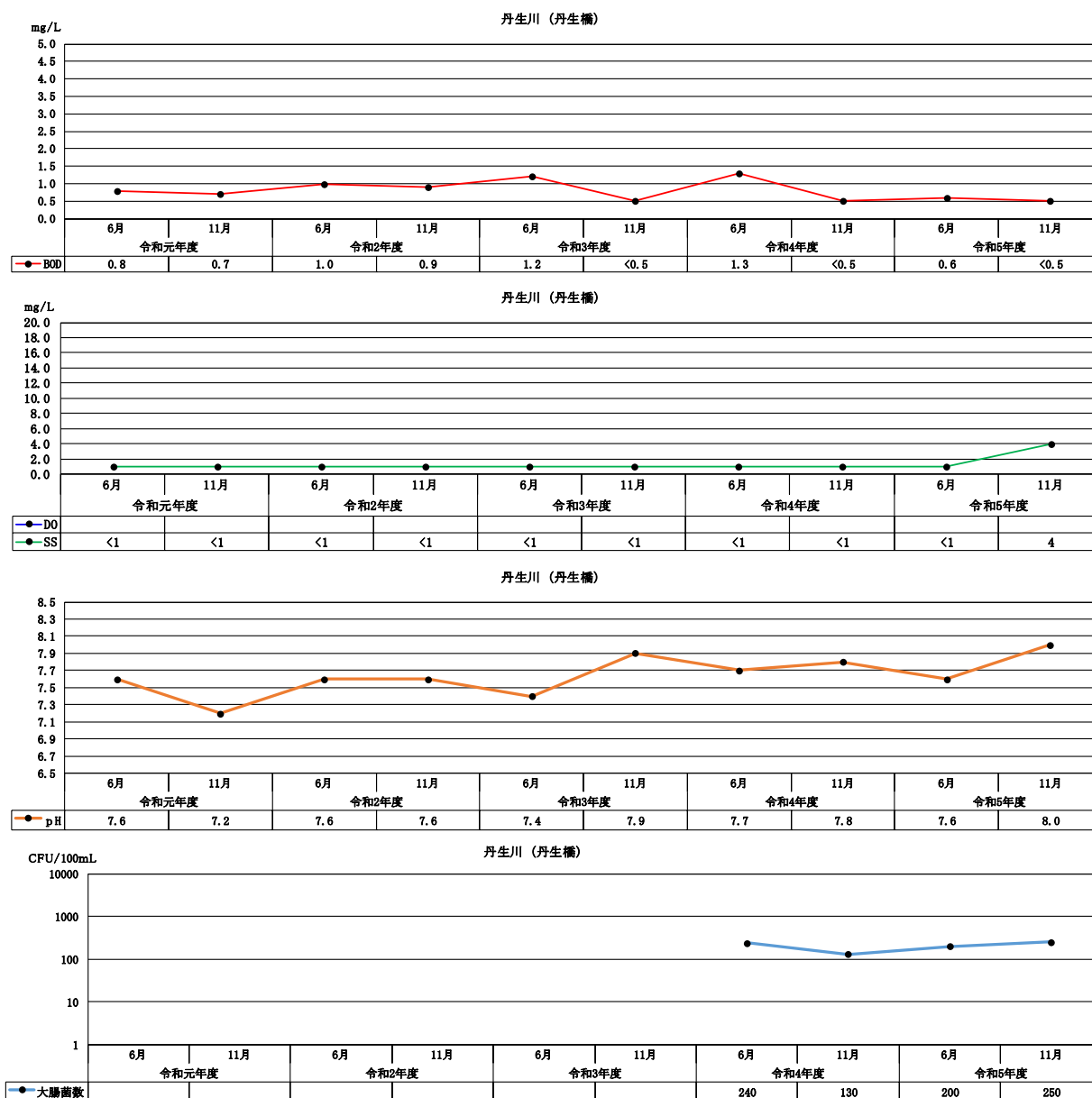


図-6 経年変化（丹生橋）

7-3 星ヶ丘川

(1) 香肌奥伊勢資源化プラザ前

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～2.2mg/Lで、SSは1mg/L未満～6mg/Lで、pHは7.2～8.8で、大腸菌数は29 CFU/100mL～250 CFU/100mLで推移している。BOD、pHと大腸菌数でやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

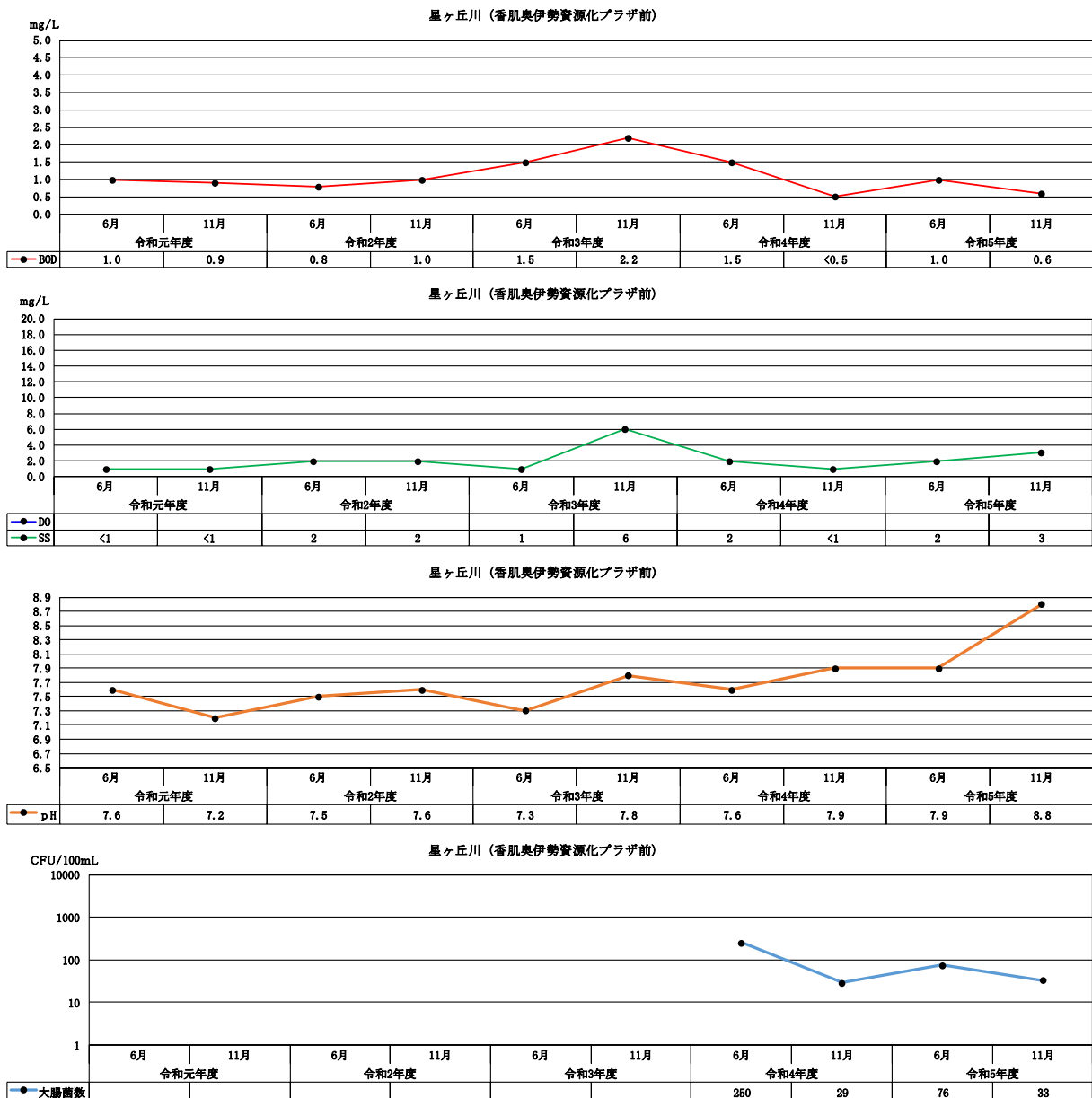


図-7 (1) 経年変化 (星ヶ丘川)

(2) 丹生色太地内

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～2.0mg/Lで、溶存酸素量は7.7mg/L～12mg/Lで、SSは1mg/L未満～5mg/Lで、pHは7.1～8.0で、大腸菌数は17CFU/100mL～740CFU/100mLで推移している。BODと大腸菌数でやや高め結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。

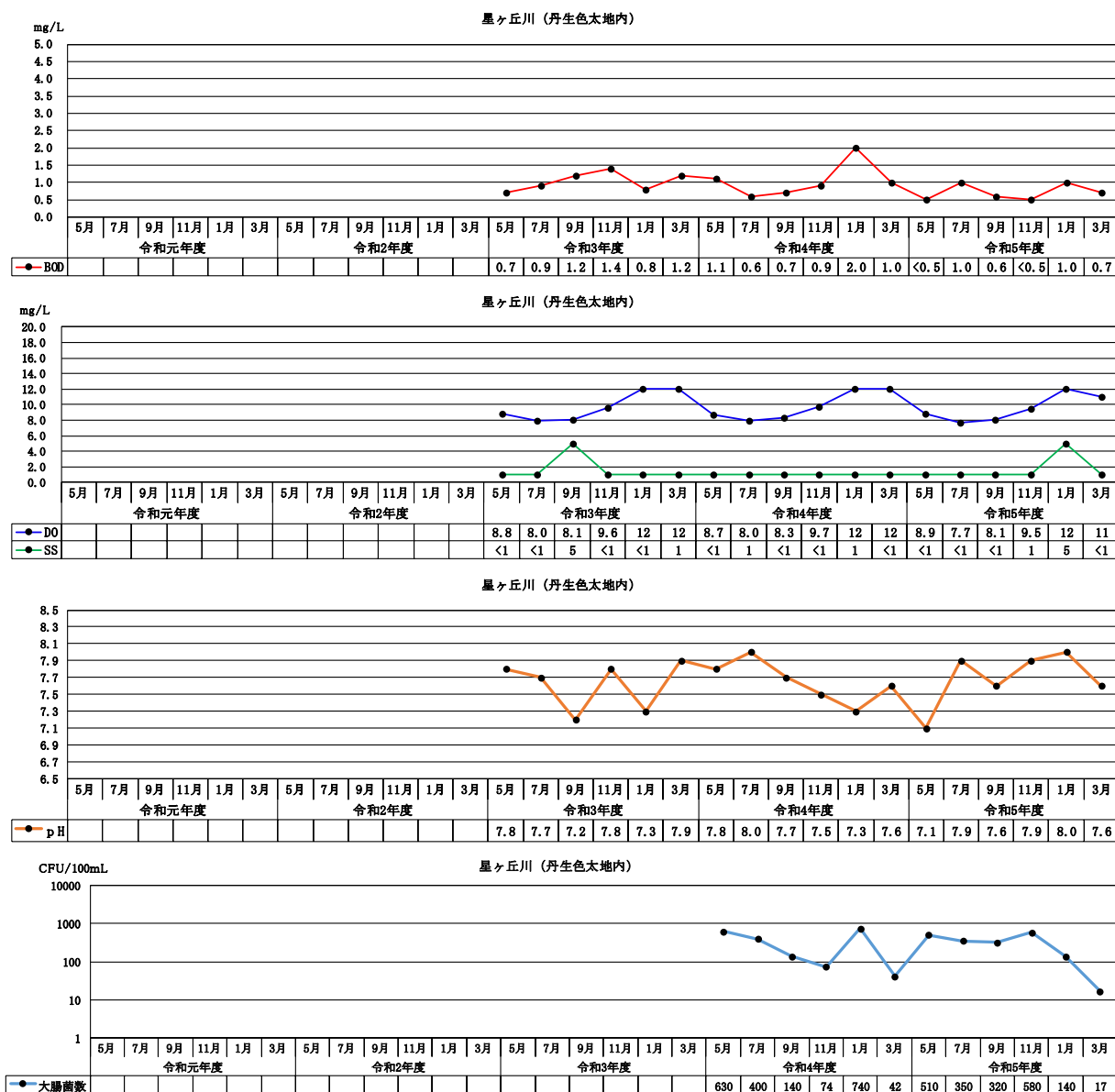


図-7 (2) 経年変化 (星ヶ丘川)

7-4 片野川

(1) 九軒組集会所前

本調査地点では、BODは0.5mg/L～5.1mg/Lで、SSは1mg/L未満～3mg/Lで、pHは6.7～7.7で、大腸菌数は43CFU/100mL～270CFU/100mLで推移している。BODと大腸菌数でやや高め結果が確認されたものの、その他の項目では概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

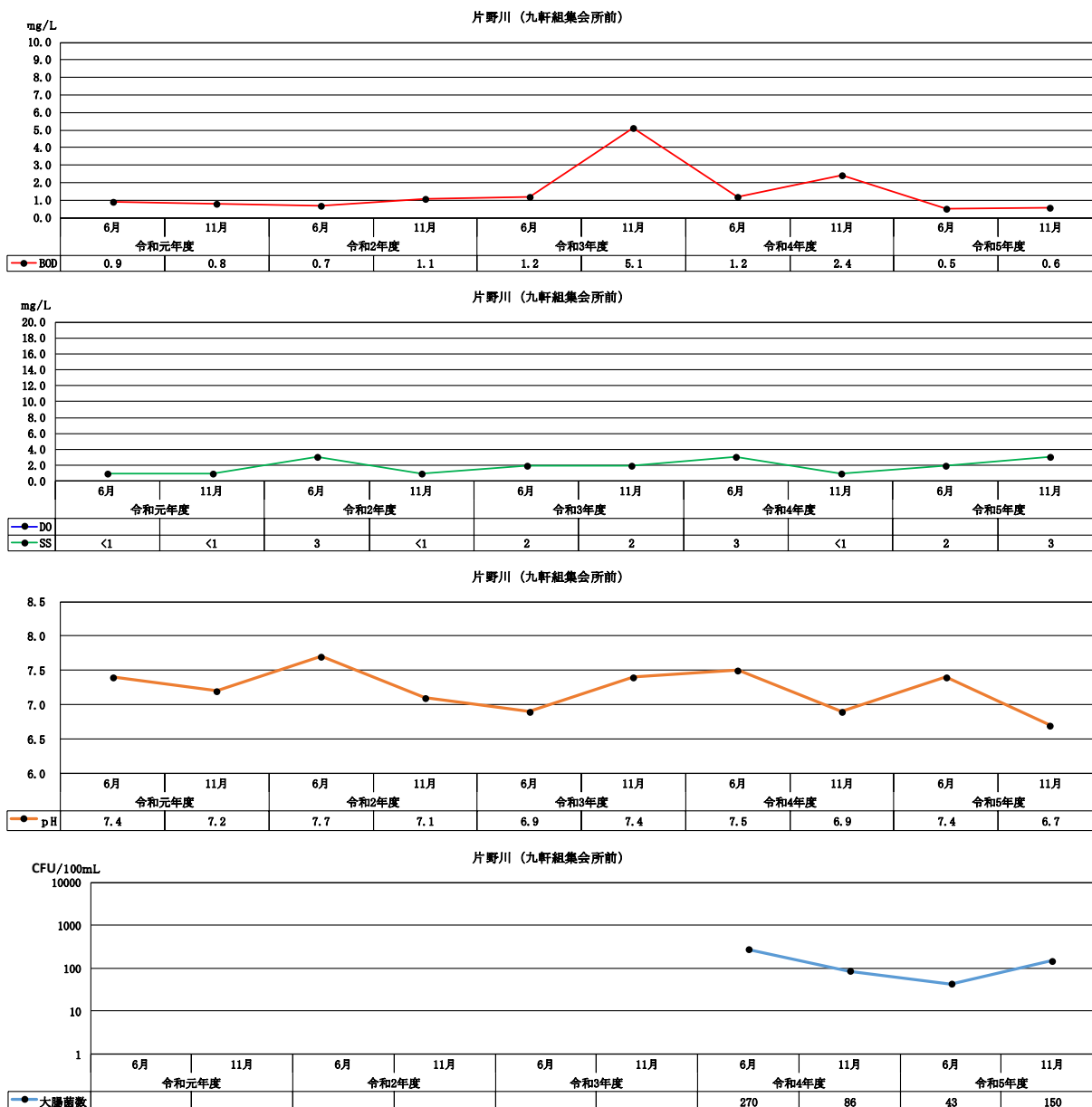


図-8 経年変化（片野川）

7-5 朝柄川

(1) 勢和振興事務所前

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.0mg/Lで、SSは1mg/L未満～2mg/Lで、pHは7.1～7.6で、大腸菌数は53CFU/100mL～380CFU/100mLで推移している。大腸菌数で高めの結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

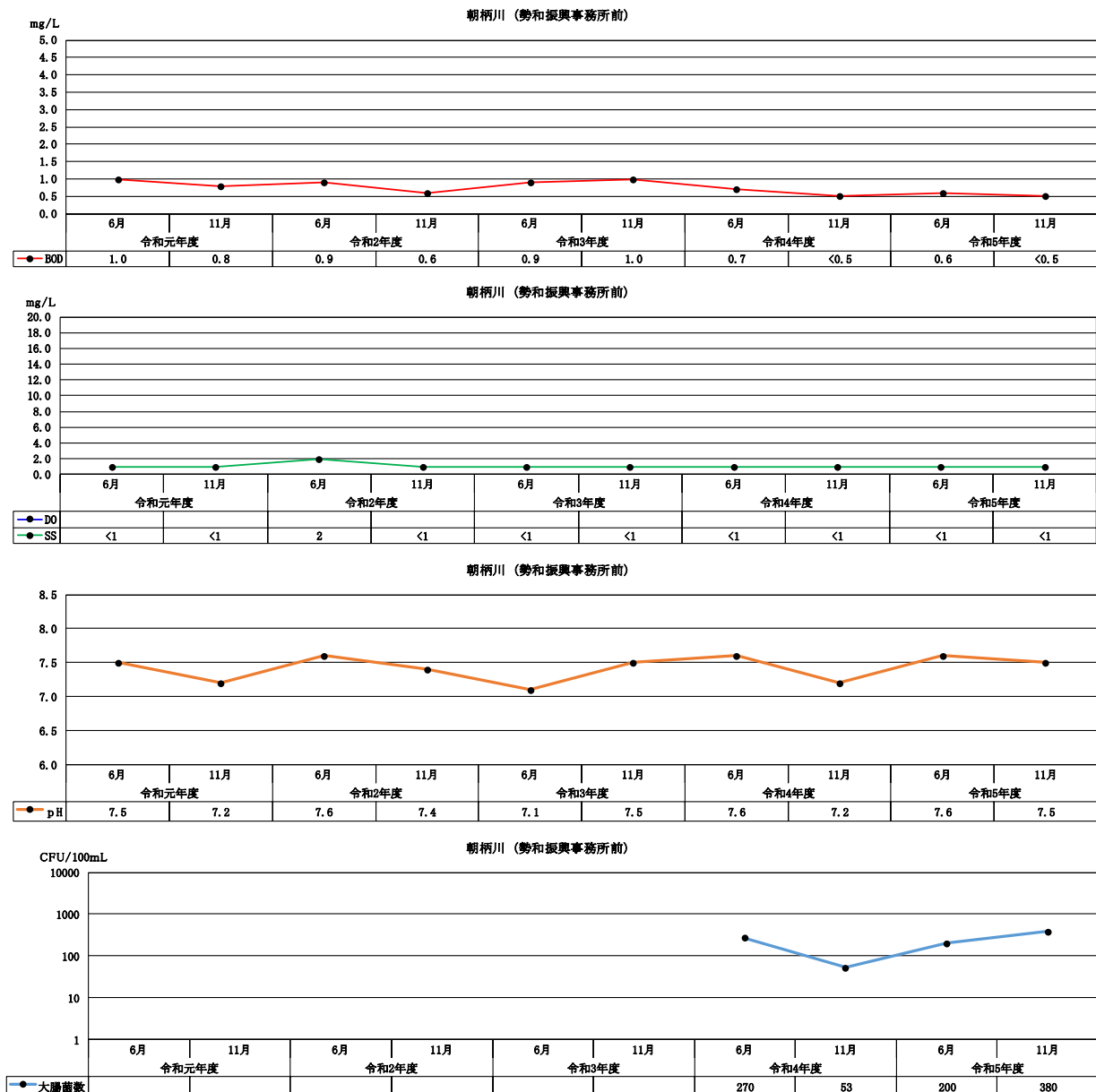


図-9 経年変化（朝柄川）

7-6 濁川

(1) 濁川橋下流

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～0.9mg/Lで、SSは1mg/L未満で、pHは7.2～7.7で、大腸菌数は290CFU/100mL～500CFU/100mLで推移している。大腸菌数で高めの結果が確認されたものの概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

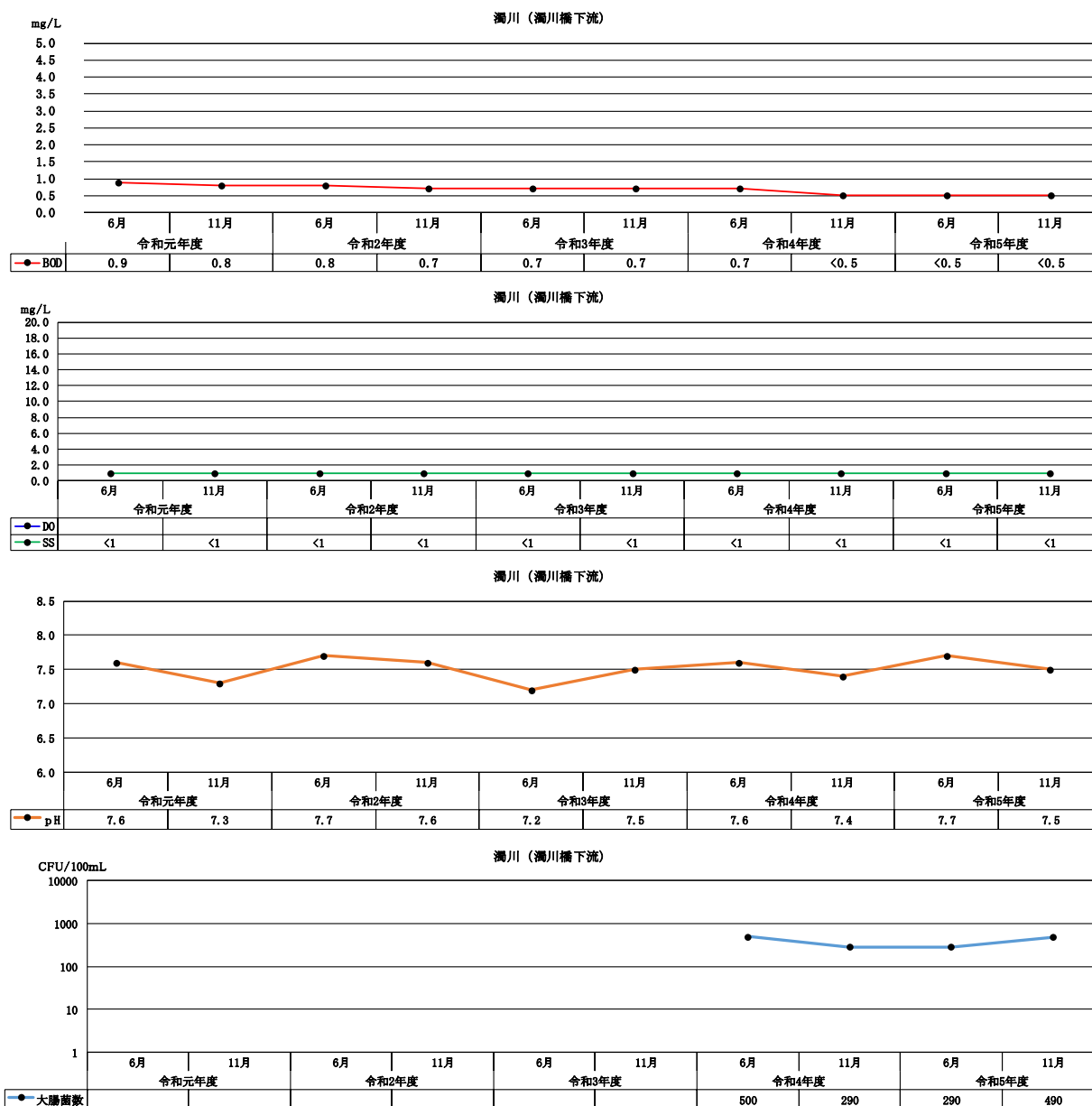


図-10 経年変化 (濁川)

7-7 相可川

(1) 多気ニュータウン放流下流

本調査地点では、BODは1.4mg/L～12mg/Lで、溶存酸素量は8.2mg/L～14mg/Lで、SSは1mg/L未満～27mg/Lで、pHは7.2～8.1で、大腸菌数は160CFU/100mL～1500CFU/100mLで推移している。BODで令和2年11月、令和4年6月及び11月に高めの値が確認され、SSで令和2年11月及び令和4年11月に高めの値が確認された。また、大腸菌数で令和4年6月、11月及び令和5年6月に高めの値が確認された。それ以外の項目については概ねその水質は安定している。

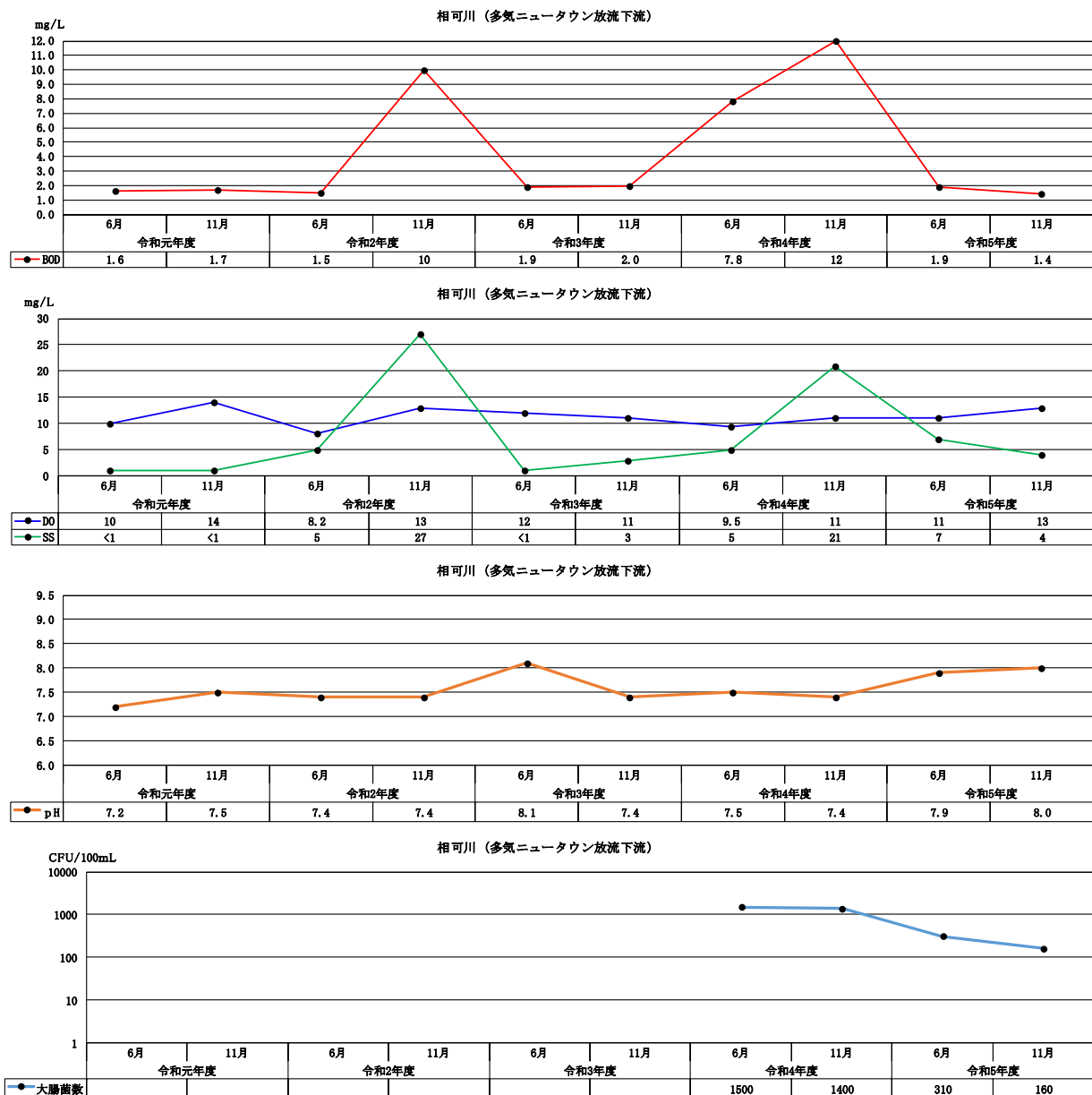


図-11 経年変化 (多気ニュータウン放流下流)

(2) 消防署西側

本調査地点では、BODは0.7mg/L～3.1mg/Lで、溶存酸素量は8.8mg/L～13mg/Lで、SSは1mg/L未満～5mg/Lで、pHは7.5～8.1で、大腸菌数は36CFU/100mL～230CFU/100mLで推移している。概ねその水質は安定している。

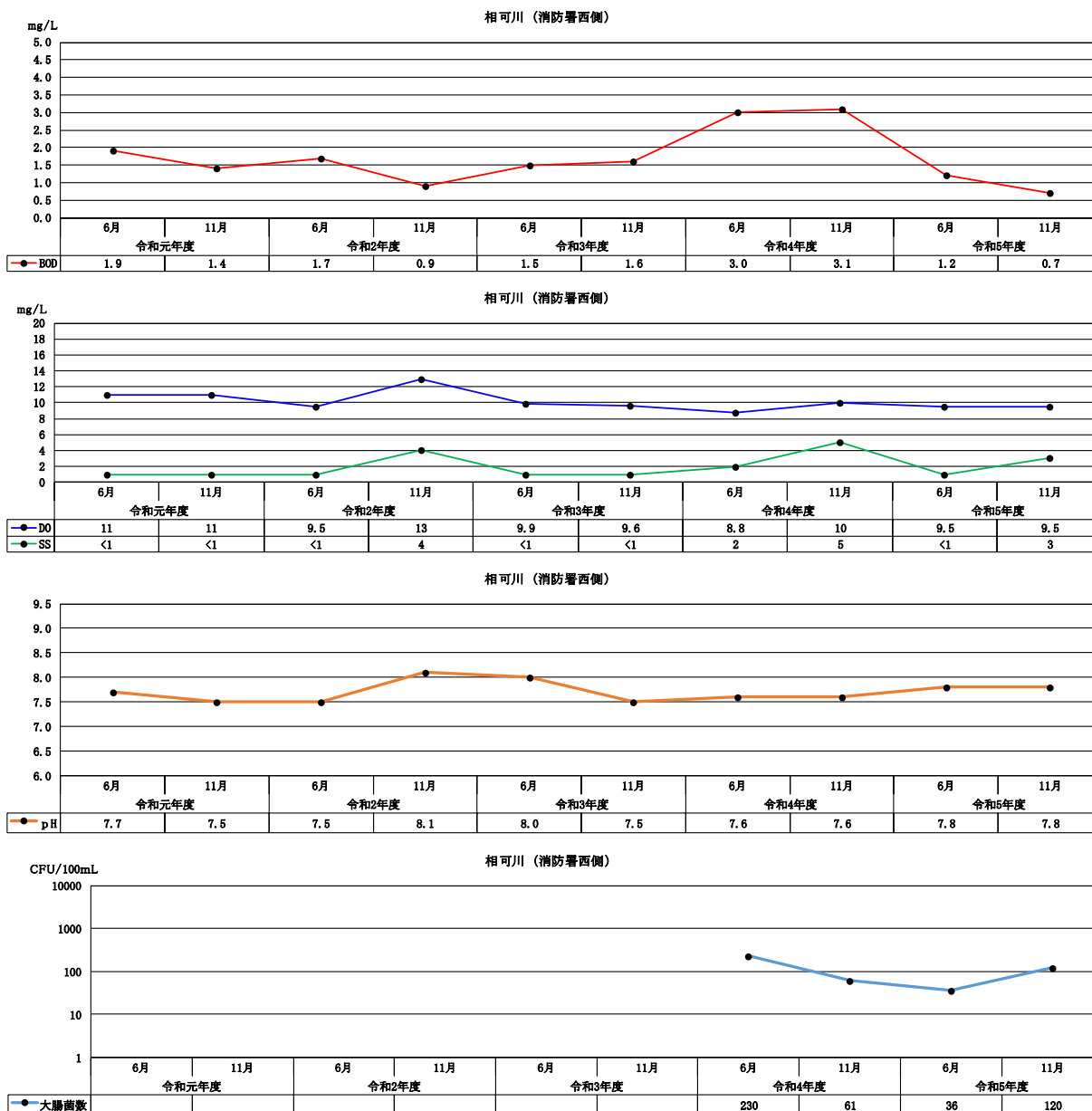


図-12 経年変化（消防署西側）

7-8 佐奈川

(1) ヴィソン下流

本調査地点では、BOD は 0.5mg/L 未満～1.1mg/L で、溶存酸素量は 7.6mg/L～10mg/L で、SS は 1mg/L 未満～10mg/L で、pH は 7.1～8.0 で、大腸菌数は 6CFU/100mL～1400CFU/100mL 推移している。大腸菌数で令和 4 年 5 月に高めの結果が確認された。それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

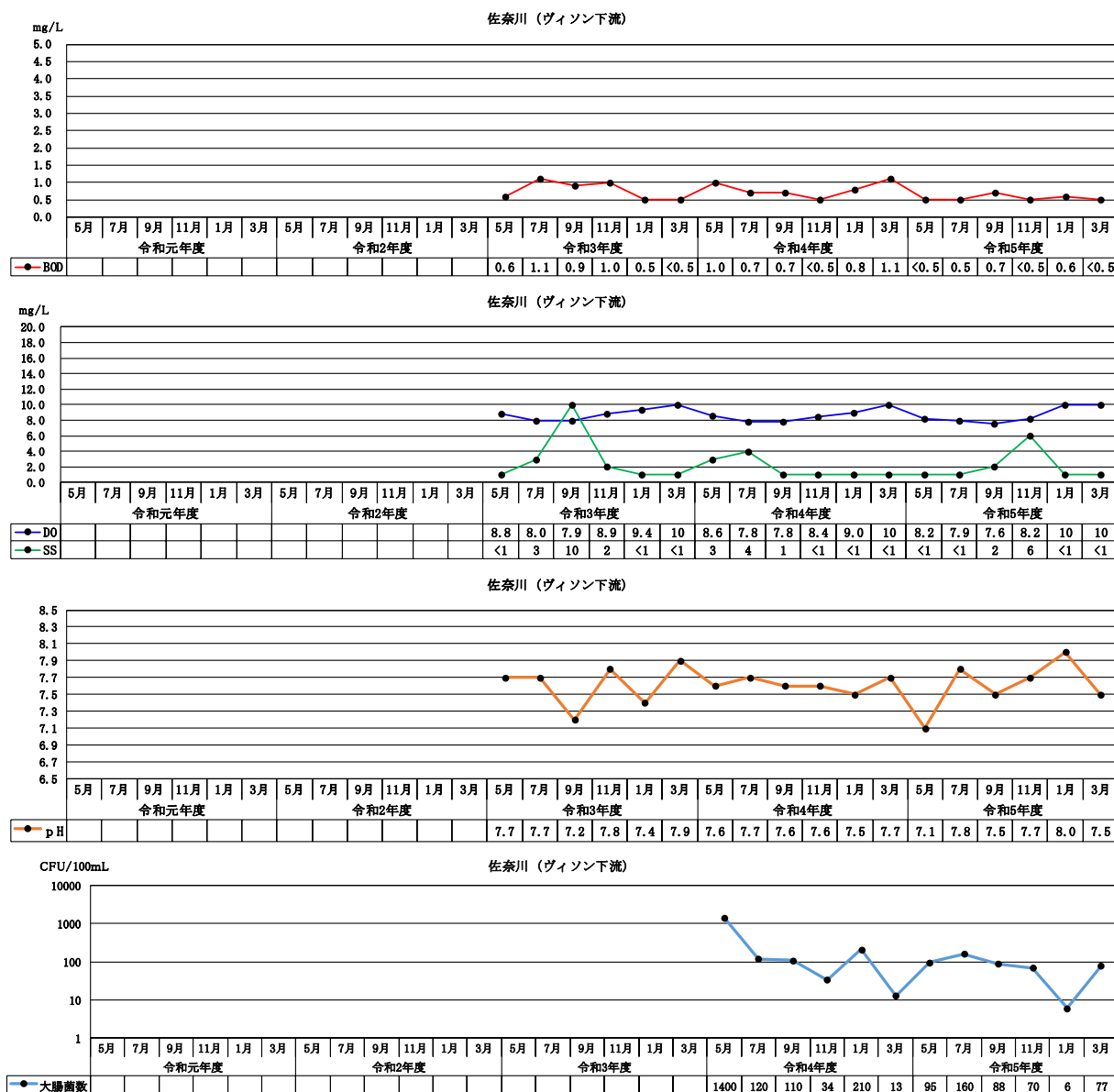


図-13 経年変化 (ヴィソン下流)

(2) 松阪興産下流

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～2.1mg/Lで、溶存酸素量は8.2mg/L～9.8mg/Lで、SSは1mg/L～110mg/Lで、pHは7.2～8.1で、大腸菌数は19CFU/100mL～910CFU/100mLで推移している。SSは多くの結果で高めの結果が確認され、大腸菌数で令和4年6月に高めの結果が確認された。それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

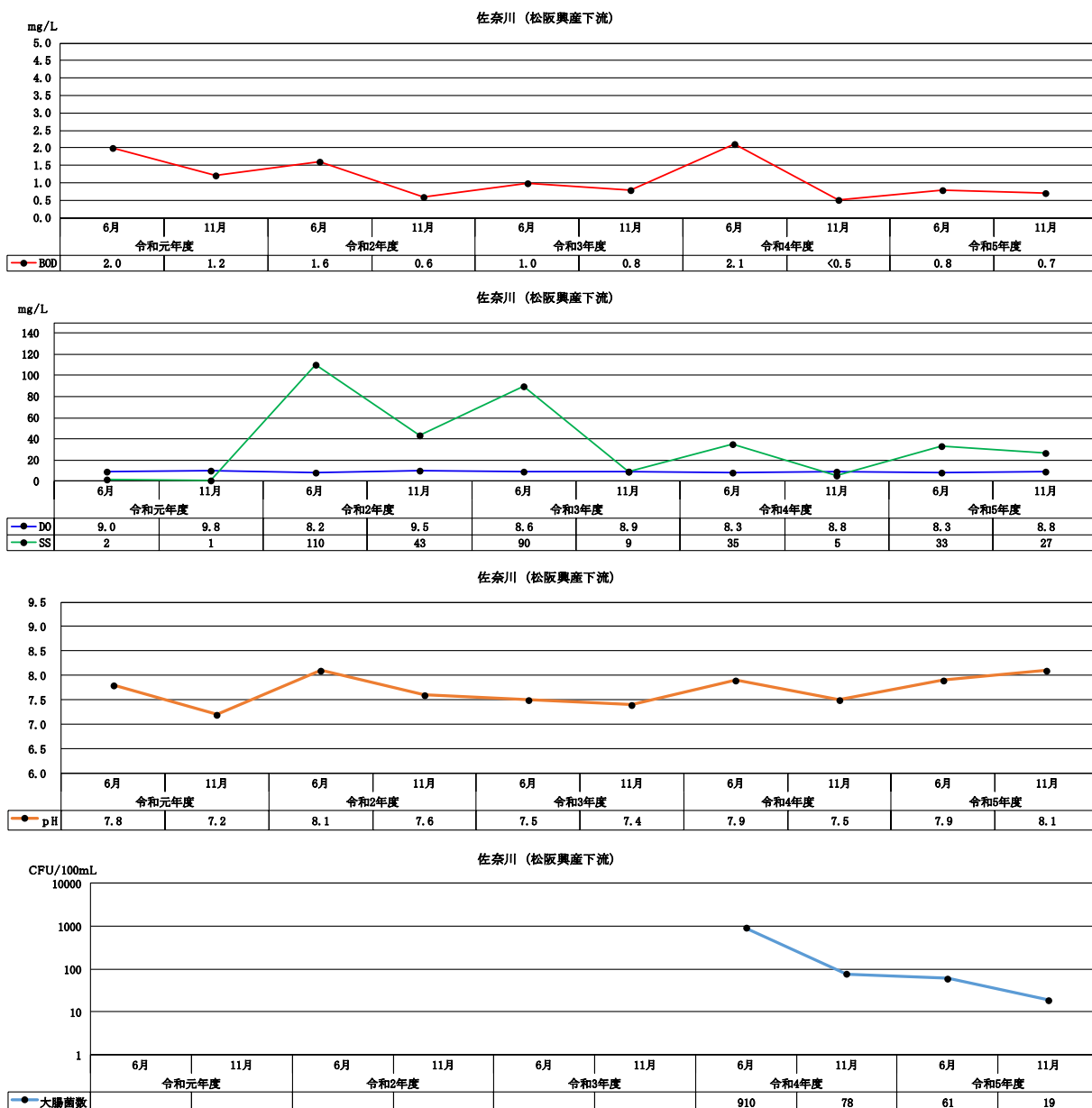


図-14 経年変化（松阪興産下流）

(3) 遼川橋

本調査地点では、BODは0.6mg/L～5.3mg/Lで、溶存酸素量は8.3mg/L～12mg/Lで、SSは1mg/L未満～4mg/Lで、pHは7.1～8.5で、大腸菌数は43CFU/100mL～950CFU/100mLで推移している。令和4年6月にBODと大腸菌数で高めの結果が確認されたが、それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

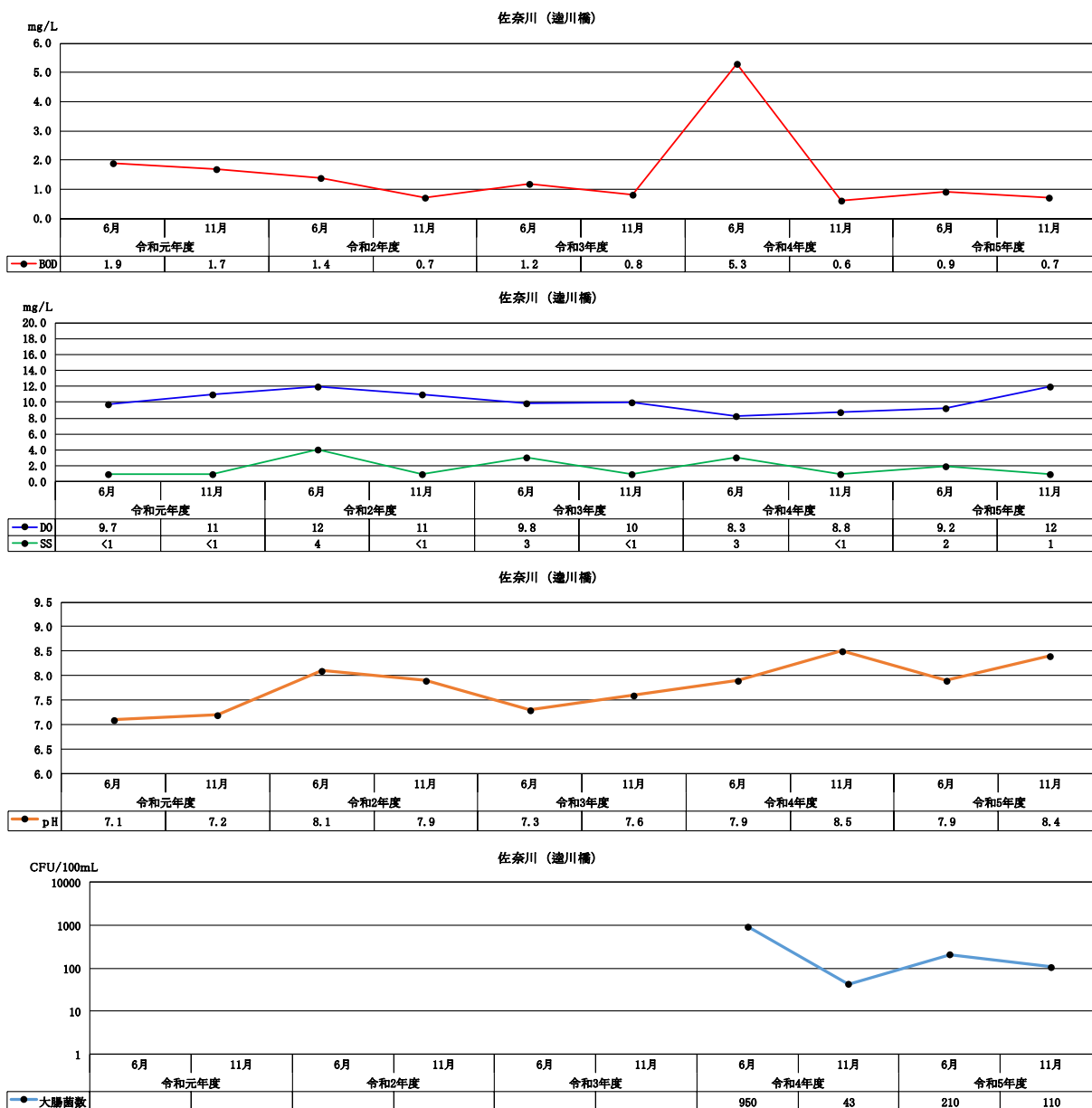


図-15 経年変化 (遼川橋)

(4) 田子田橋

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～1.7mg/Lで、溶存酸素量は8.6mg/L～11mg/Lで、SSは1mg/L未満～4mg/Lで、pHは7.2～8.4で、大腸菌数は39CFU/100mL～290CFU/100mLで推移している。概ねその水質は安定している。

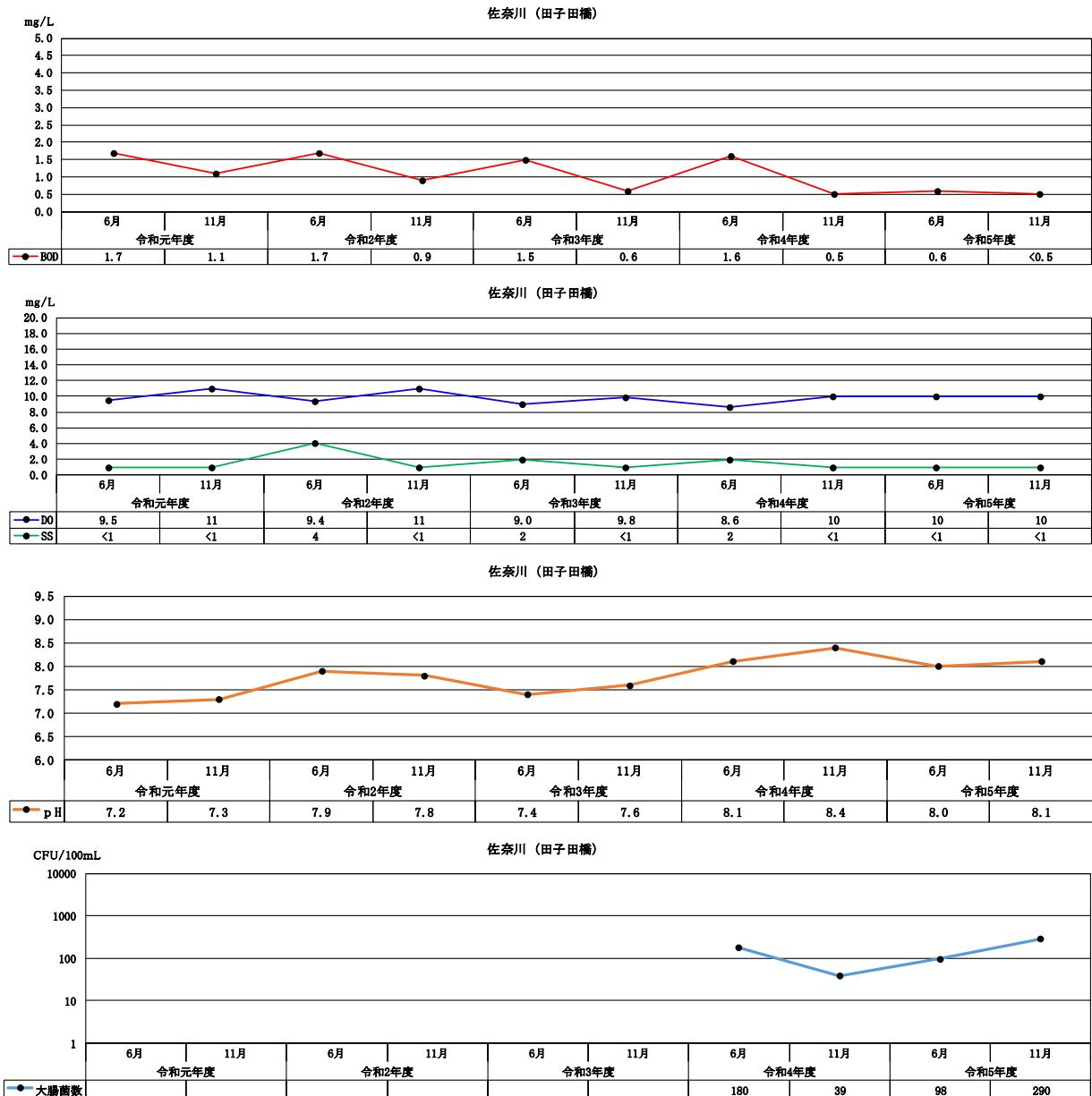


図-16 経年変化 (田子田橋)

7-9 河田川

(1) 河田川合流点上流

本調査地点では、BODは0.5mg/L～1.8mg/Lで、溶存酸素量は8.1mg/L～9.8mg/Lで、SSは1mg/L未満～11mg/Lで、pHは7.1～8.1で、大腸菌数は25CFU/100mL～570CFU/100mLで推移している。大腸菌数で令和4年6月で高めの値が確認されたが、それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

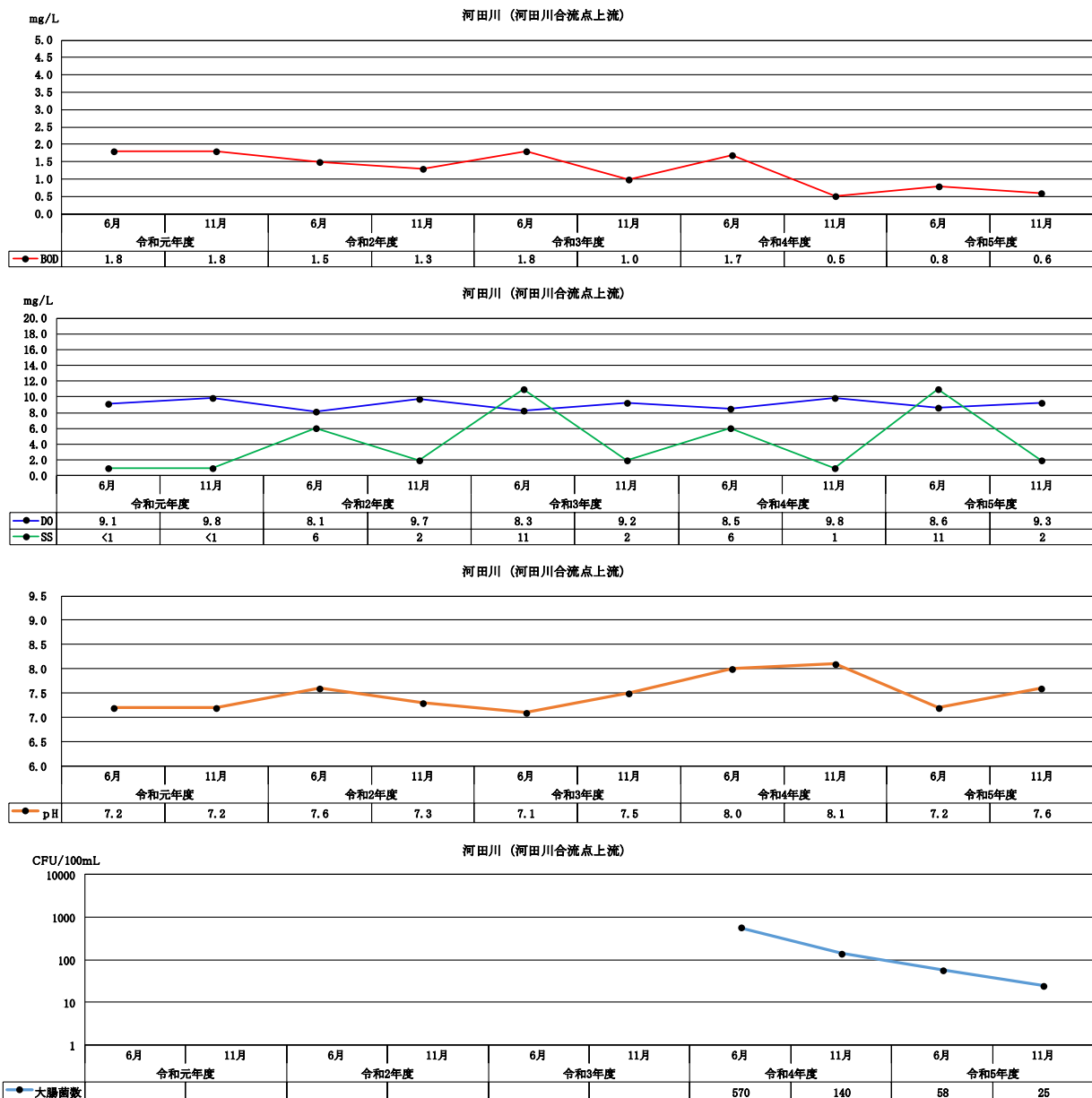


図-17 経年変化 (河田川合流点上流)

7-10 外城田川

(1) 鳴子川合流点上流

本調査地点では、BODは0.5mg/L~2.7mg/Lで、溶存酸素量は9.3mg/L~14mg/Lで、SSは1mg/L未満で、pHは7.1~9.9で、大腸菌数は2CFU/100mL~140CFU/100mLで推移している。pHで令和4年11月から令和5年11月まで連続して高めの結果が確認されたものの、それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

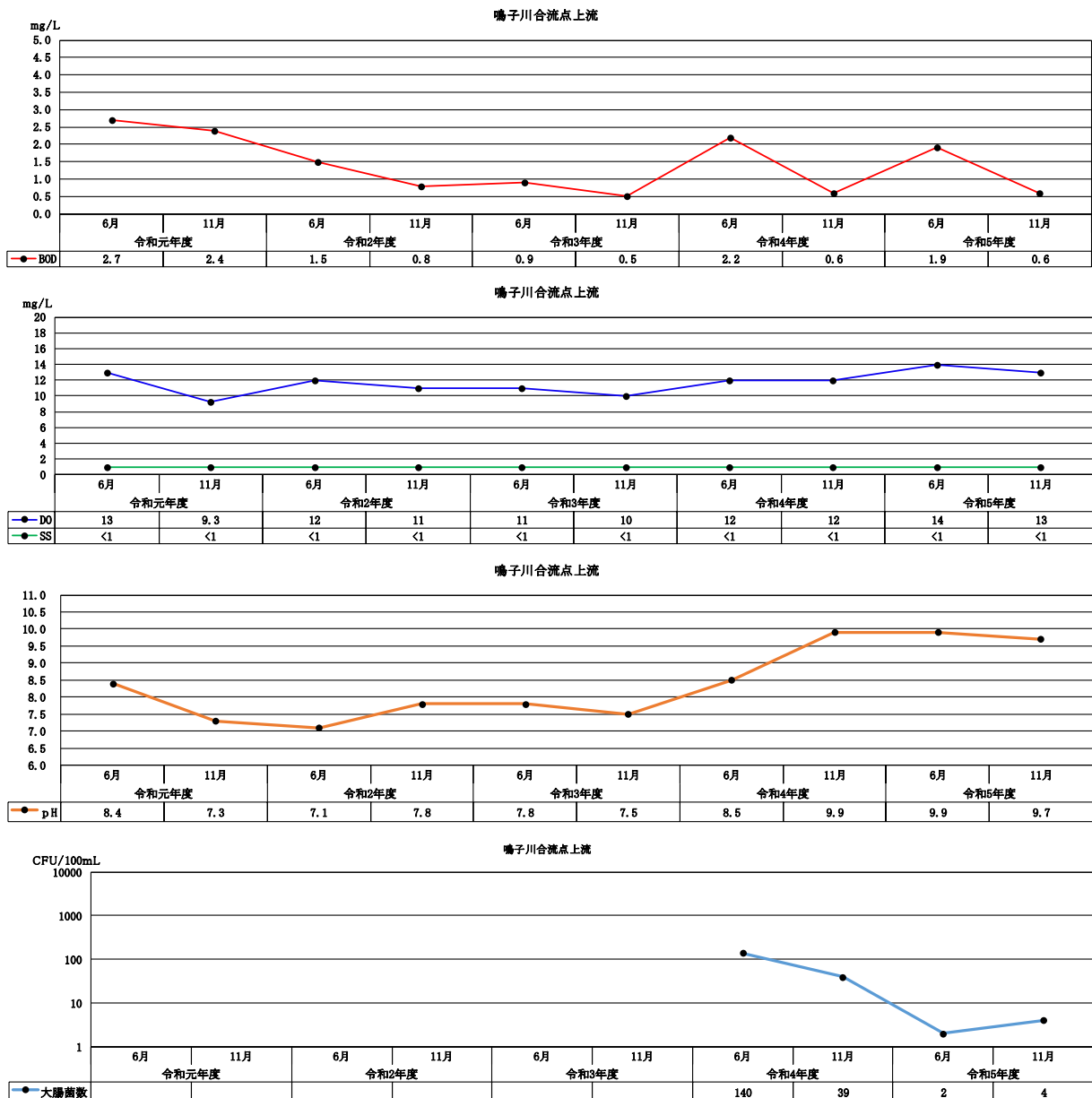


図-18 経年変化（鳴子川合流点上流）

(2) 森荘

本調査地点では、BODは0.6mg/L～2.6mg/Lで、溶存酸素量は8.1mg/L～10mg/Lで、SSは1mg/L未満～2mg/Lで、pHは6.7～7.6で、大腸菌数は11CFU/100mL～480CFU/100mLで推移している。概ねその水質は安定している。

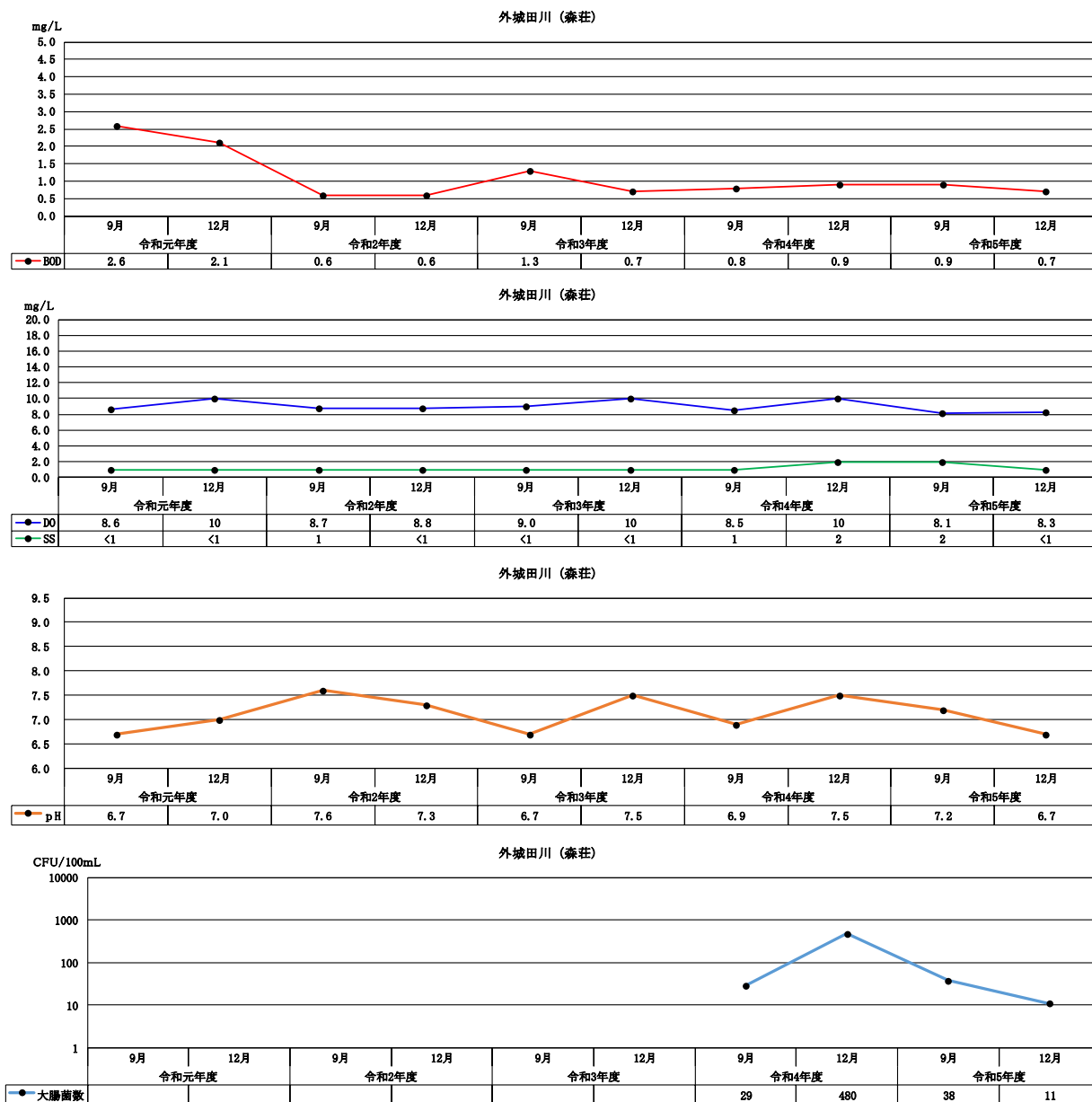


図-19 経年変化（森荘）

(3) 土羽（玉城町境界点）

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～2.7mg/Lで、溶存酸素量は8.3mg/L～12mg/Lで、SSは1mg/L未満～2mg/Lで、pHは7.0～7.6で、大腸菌数は14CFU/100mL～68CFU/100mLで推移している。概ねその水質は安定している。

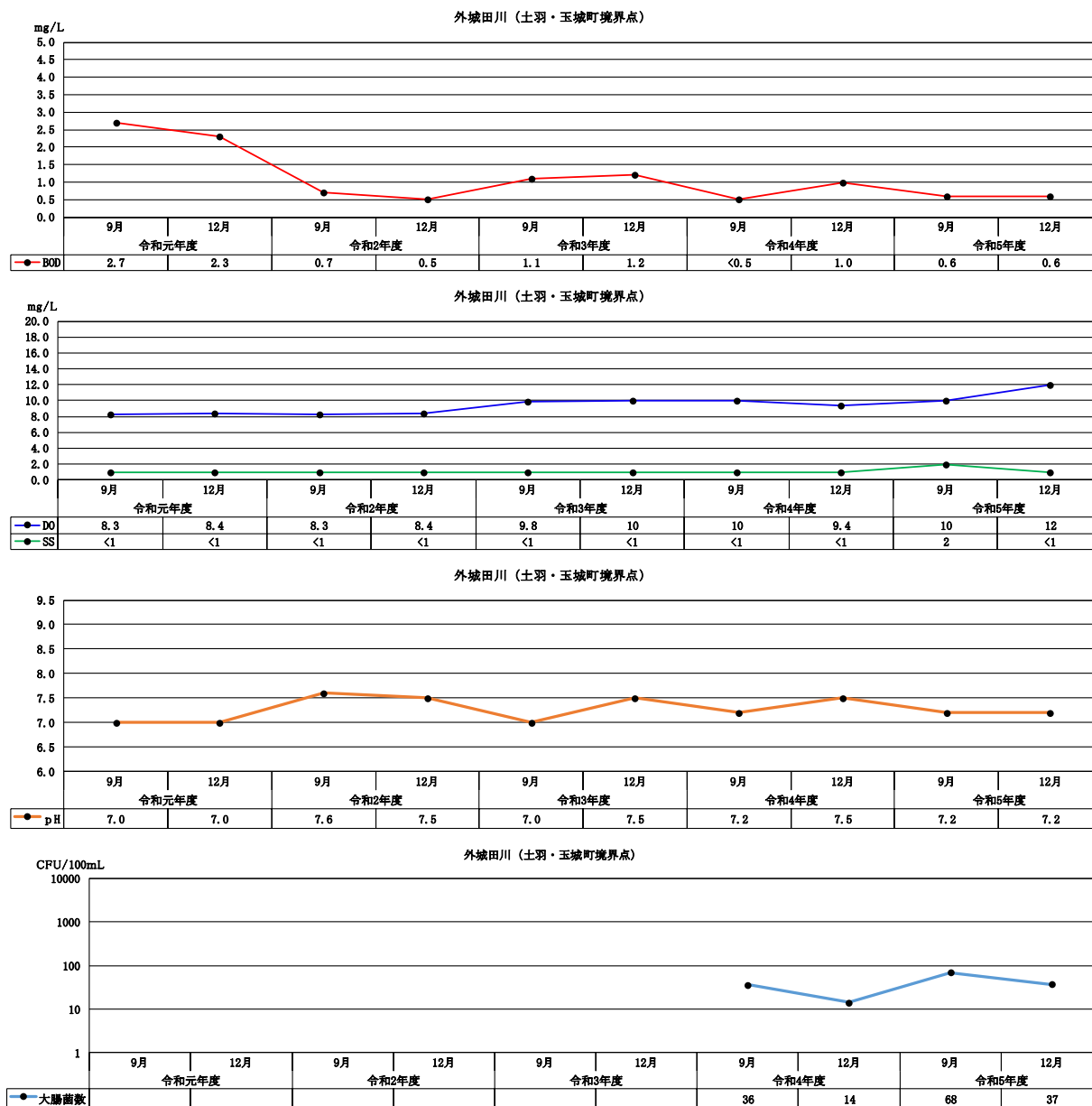


図-20 経年変化（土羽（玉城町境界点））

(4) 土羽の旧灰捨て場

本調査地点では、BODは0.5mg/L未満～2.7mg/Lで、SSは2mg/L～25mg/Lで、pHは7.0～7.6で、大腸菌数は39CFU/100mL～3200CFU/100mLで推移している。SSで令和2年に高めの結果が、大腸菌数で令和5年10月に高めの値が確認されたが、それ以外の項目では概ねその水質は安定している。なお、溶存酸素量については過去5年間実施していなかった。

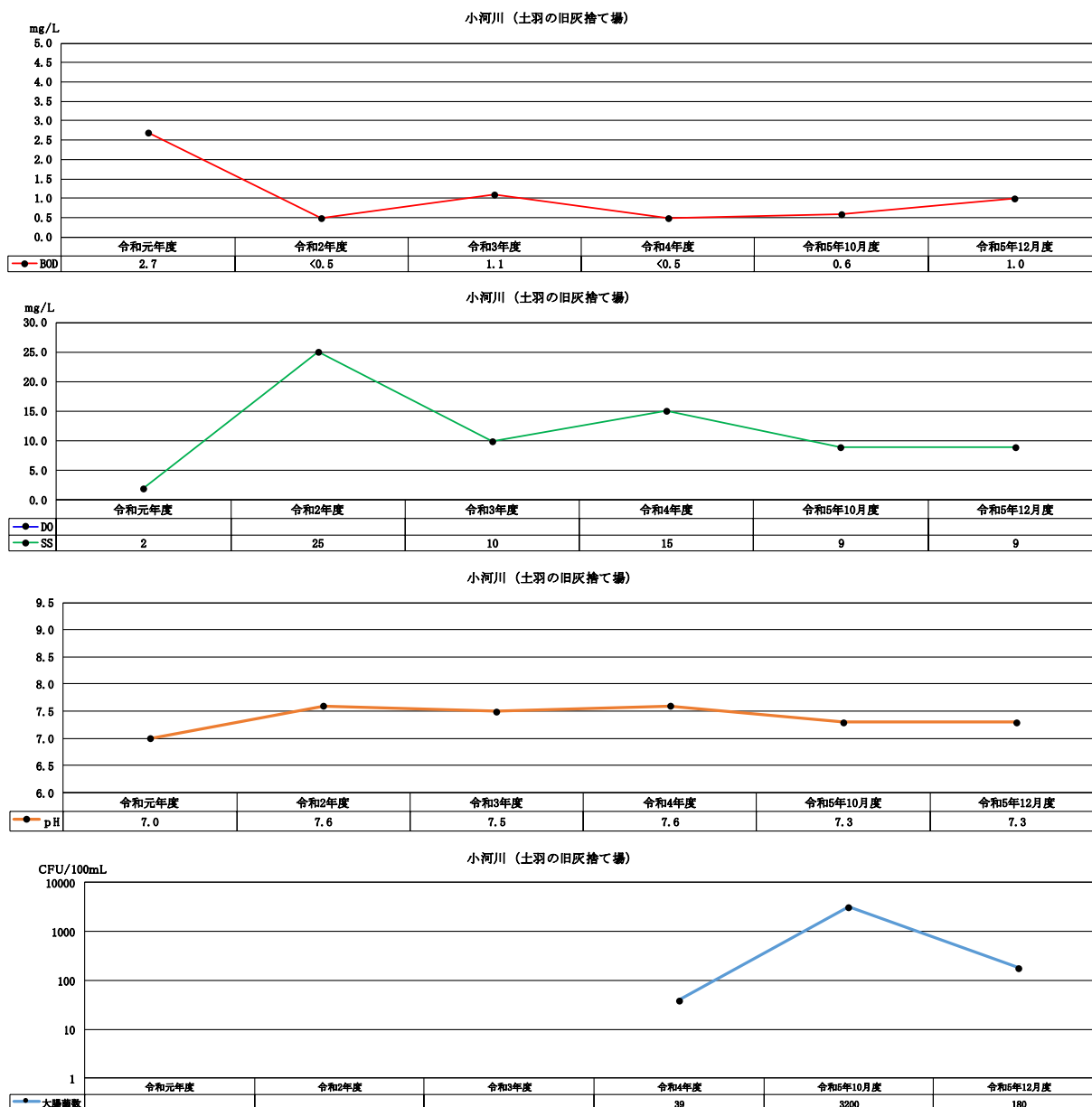


図-21 経年変化（土羽の旧灰捨て場）

7-11 湖沼水

(1) 五桂池

本調査地点では、CODは2.2 mg/L～5.2mg/Lで、溶存酸素量は7.8mg/L～11mg/Lで、SSは1 mg/L未満～19mg/Lで、pHは7.1～8.2で、大腸菌数は1CFU/100mL～3CFU/100mLで推移している。概ねその水質は安定している。

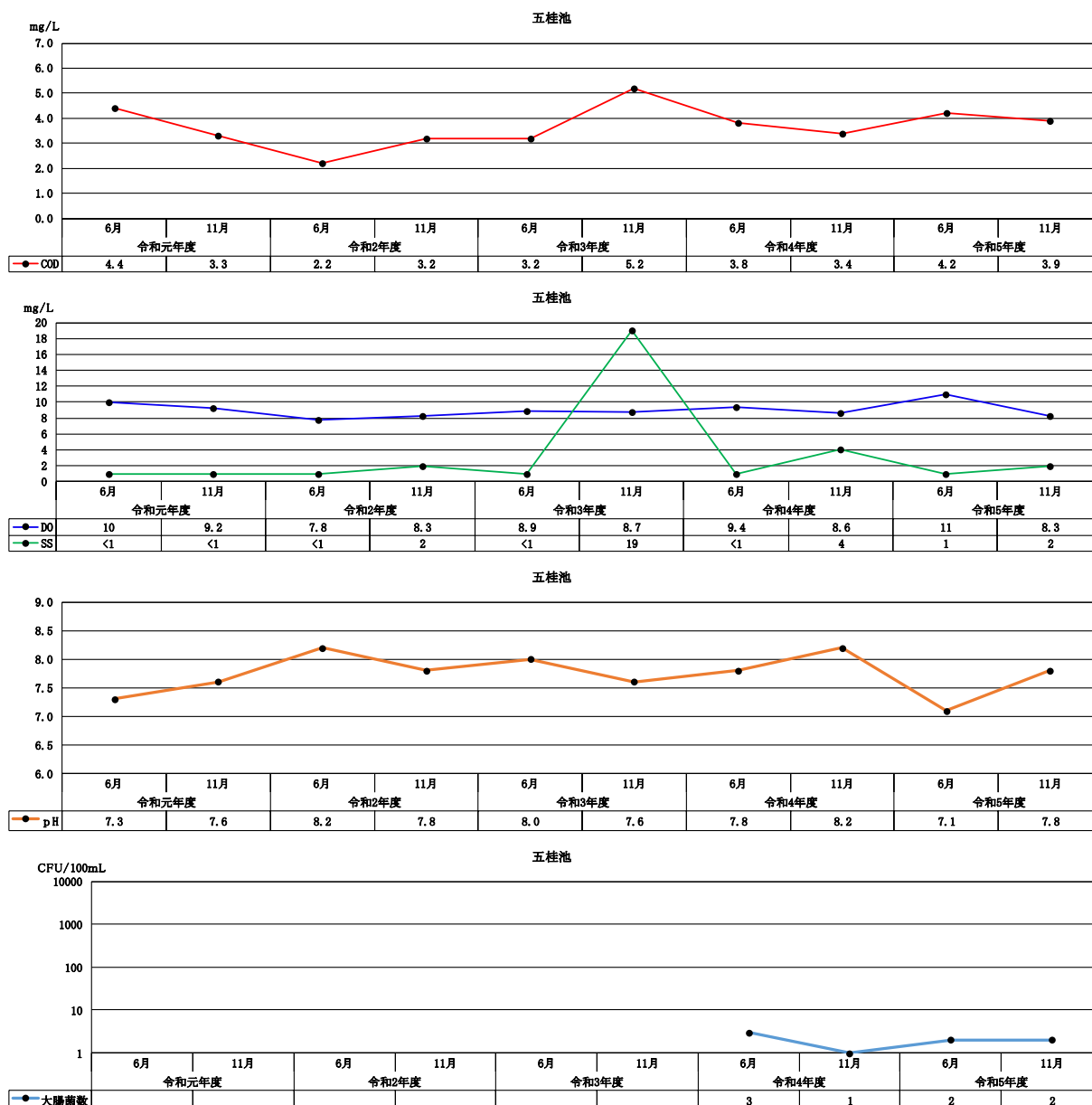


図-22 経年変化（五桂池）

(2) 栃ヶ池

本調査地点では、CODは2.8mg/L～4.8mg/Lで、溶存酸素量は4.9mg/L～11mg/Lで、SSは1mg/L未満～5mg/Lで、pHは7.2～7.9で、大腸菌数は1CFU/100mL未満～10CFU/100mLで推移している。溶存酸素量で令和5年11月にやや低めの値が確認されたが、それ以外の項目では概ねその水質は安定している。

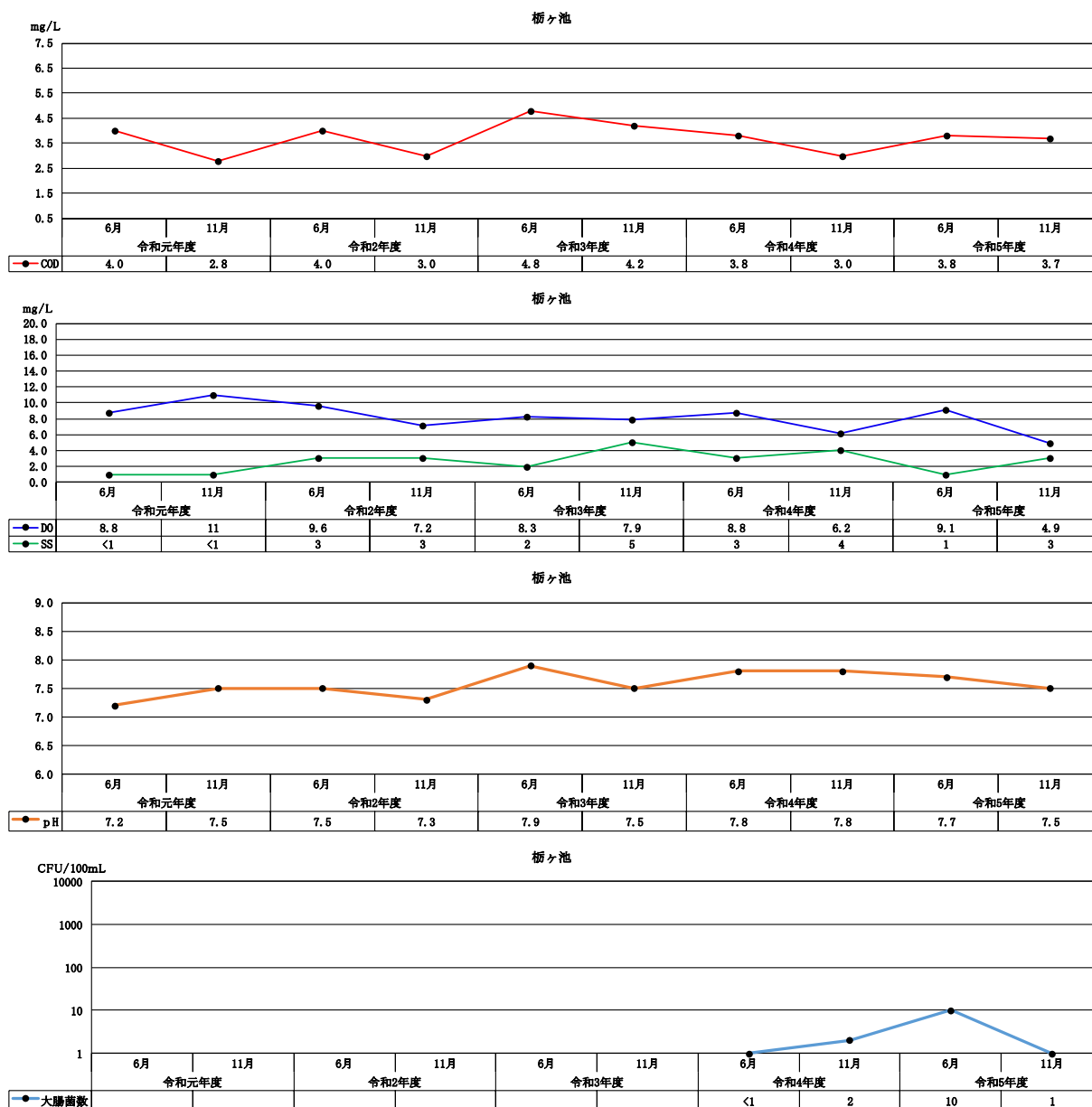


図-23 経年変化 (栃ヶ池)

(3) 天啓池

本調査地点では、CODは2.6mg/L～5.5mg/Lで、溶存酸素量は4.9mg/L～11mg/Lで、SSは1mg/L未満～5mg/Lで、pHは7.2～8.2で、大腸菌数は1CFU/100mL未満～2CFU/100mLで推移している。溶存酸素量で令和4年11月にやや低め値が確認されたものの概ねその水質は安定している。

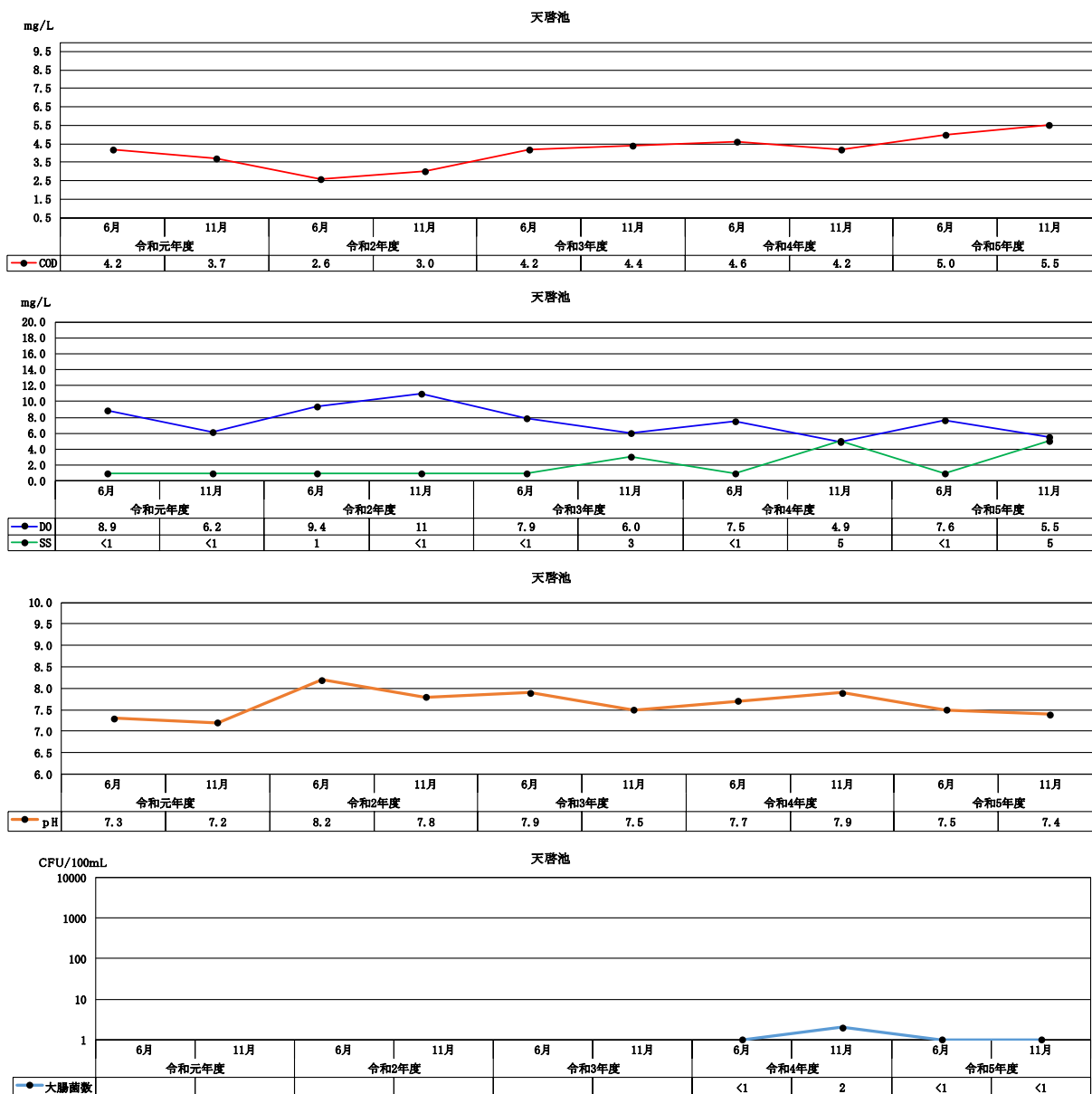


図-24 経年変化 (天啓池)

8 次年度以降の調査への提言

多気町内での河川水、湖沼水及び工場排水について調査を行ったところ、河川の多くの地点では大腸菌数で環境基準を超過する結果が確認されているため、環境基準を超過した地点については引き続き注視してモニタリングする必要があると考える。

また、令和3年度にBODが増加している傾向がみられた片野川の九軒組集会所前では、昨年度に続きBODの低下がみられたため一過性のものとする。また、昨年度はSSやBODの悪化が見られた相可川の多気ニュータウン放流下流では本年度の水質は安定していたため一過性のものとする。同様に佐奈川の松阪興産下流では令和2年度や令和3年度にSSで参考にした環境基準を大幅に超過する傾向がみられたが、本年度の調査でも引き続き参考にした環境基準を超過する傾向がみられるため次年度も注視していく必要があると考える。併せて外城田川の鳴子川合流点上流については令和4年11月の調査でpHの悪化が見られて以降、本年度も連続して悪化した状態が続いているためモニタリングの頻度を増やすなどの対策の必要があると考える。

土羽の旧灰捨て場について、令和5年10月の調査ではダイオキシン類で環境基準を超過する結果が確認された。このために令和5年12月に実施した再調査では環境基準に適合していたため一過性のものとするが、次年度も注視していく必要があると考える。

湖沼水については一部の調査地点でCOD及び溶存酸素量について参考とした環境基準を超過していたが、その他の検査項目については環境基準に適合していたことから、次年度以降も調査仕様に大きな変更は必要なく、当初設定した項目を注視してモニタリングしていくことで問題はないものと考えられる。

事業場からの排水の調査結果についても協定値や排水基準に適合していたことから、次年度以降も調査仕様に大きな変更は必要なく、当初設定した項目をモニタリングしていくことで問題はないものと考えられる。

※本調査における各種基準値は以下を出典とした。

環境基準（水質汚濁に係る環境基準）

環境基本法（平成5年法律第91号）第16条による公共用水域の水質汚濁に係る環境上の条件につき人の健康を保護し及び生活環境を保全するうえで維持することが望ましい基準（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）

排水基準

水質汚濁防止法（昭和45年法律第138号）第3条第1項の規定に基づく「排水基準を定める総理府令」（昭和46年6月21日総理府令第35号）

上乘せ基準

「水質規制のあらまし」令和4年12月三重県大気・水環境課21ページより抜粋
大気汚染防止法第四条第一項の規定に基づく排出基準及び水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例（昭和46年三重県条例第60号）

ダイオキシン類環境基準等

ダイオキシン類対策特別措置法（平成11年法律第105号）に基づく
水質の汚濁に係る環境基準（環境庁告示第68号）及び特定施設の排水基準（総理府令第67号）

巻末 採取状況



業 務 名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作 業 内 容 採取箇所の状況確認



業 務 名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作 業 内 容 試料採取状況



業 務 名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作 業 内 容 採取試料の確認
水温の測定



業務名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作業内容 透視度の測定



業務名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作業内容 試料容器への移し替え



業務名 令和5年度
多気町環境基本計画調査

作業内容 採取試料